

# 年報

## 2007

vol.5

---

～新しいライフスタイルの創造と 「参画と協働」による こころ豊かな美しい丹波づくりをめざして～



(財) 兵庫丹波の森協会  
県立丹波の森公苑  
県立ささやまの森公園

## CONTENTS

# もくじ

理事長あいさつ	2
公苑長あいさつ	3
名誉公苑長エッセー	4
森トピックス	5
活動方針	10
丹波の森公苑	
■2007年度事業報告	
事業報告	12
講座一覧	40
出前講座の状況	47
活動・施設利用一覧	49
理事会・運営委員会の開催状況	59
■組織及び施設概要	
機能	64
沿革	65
施設の概要	66
組織と職員	68
ささやまの森公園	
■2007年度事業報告	
事業報告	70
プログラム一覧	76
活動・施設利用一覧	81
運営協議会委員名簿	86
■組織及び施設概要	
機能	87
沿革	88
施設の概要	89
組織と職員	90
利用案内	92



## 「自然はすべての人に ひらかれた書物」

大きな目標を、より着実に将来にわたって推進していくためには、時代の変化に臨機に対応する知恵や行動力が常に要求されます。

このため、兵庫丹波の森協会、丹波の森公苑、ささやまの森公園では5年前から、年度毎に事業展開の結果を検証・評価し、成果と課題を年報としてまとめ、次年度以降の事業の充実や革新に活かすための努力をいたしております。

平成19年度を振り返りますと、この年度は、平成18年度の「丹波の森公苑開園10周年、並びに兵庫丹波の森協会発足」という節目を終え、来る平成20年度は「丹波の森構想策定並びに丹波の森協会設立20周年」の節目を迎えるという、狭間にあり、丹波の森づくりの継続と伸展に影響を与える重要な年となりました。

このため、平成19年度は、特にシンクタンク機能を有する「丹波の森研究所」の充実・強化を重点目標として取り組み、新たに「丹波の森研究所篠山分室」を開設し、二つの拠点を核として、より機動的に地域に密着した活動を展開することができました。このことは、森研究所のシンクタンク機能が「頭脳集団」から「頭脳戦車」へと、より行動力を持った研究所に発展する証しであると期待を膨らませております。

これもひとえに、地域の皆様や兵庫県・篠山市・丹波市ご当局のご理解とご支援の賜物と心から感謝を申し上げます。

ところで、ある新聞のコラムに「すべての人の目のまえにひらかれている書物が一冊だけある。それは自然という書物だ」と、フランスの思想家ルソーの言葉が紹介されておりました。

私は、その奥の深い言葉に大変感銘を受け、丹波に住む人、丹波を訪れる人、お一人お一人が「丹波の森」という良書に親しんでいただき、それぞれの生活の場で、地域社会の中で、素晴らしい読書感想文を綴っていただくことが「丹波の森構想」そのものであるとの思いを強くいたしましたところでございます。

後になりましたが、森協会、森公苑、森研究所、ささやまの森公園の全てにおきまして、「地域に密着し、地域活動を支援し、地域とともに歩む」姿勢を更に強めながら、参画・協働の理念のもと、真摯に丹波の森づくりに努めて参る所存でございますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

平成20年9月

財団法人 兵庫丹波の森協会  
理事長 辻 重五郎



## 「マネジメントの時代」

---

暑い日々がようやく終わろうとしています。皆様如何お過ごしでしょうか。暦では大暑の次の日、7月23日（2008年）10時前、丹波の森公苑入苑者300万人を突破することができました。榮えある300万になられたのは、折しも大ホールで「縫いぐるみ劇」の公演があり、この観賞に来られた篠山・住吉台にお住まいの親子3人連れの方々でした。公苑の林内にあるケージで飛び交うオオムラサキの見学に来た保育園の子ども達が緑の中庭を歩いている風景を背景に、玄関ロビーで職員手造りのくす玉を割りのミニセレモニーを実施し、みんなでお祝いをしました。

丹波の森公苑では、開苑以来11年の経験や実績を糧にして、21世紀、成熟・環境の社会、豊かな暮らしの社会、そして、市民参画型の運営の社会を先導する活動が着実に根付いています。兵庫県のみならず、わが国がめざすべき一つの方向を発信しているものと確信しています。

これは、丹波の市民の皆様のみならず、多くの兵庫県民の皆様に長年にわたり丹波の森公苑をご愛顧頂き、活用して頂けたからこそです。

自然や歴史、文化、芸術などをテーマとしながら「趣味」や「生きがい」、さらには「丹波の良さや特性」を追求されている諸団体の皆様、「豊かな暮らし」や「持続可能な社会」の実現に邁進されている自治会、婦人会、老人会、JC等の諸団体の皆様、さらには両方のテーマに係わりながら活動を展開されているNPOなどの皆様にお礼を申し上げると共に、さらに丹波の森公苑、公苑職員との連携をさらに密接にして活動を展開していくことを祈念しています。

時代は市民参画を基礎にした地域の良好な運営・マネジメントの方向に向かっています。皆様方のご支援とご参画を得ながら、丹波の森公苑のみならず、丹波地域全体での活動をますます活性化したいものです。

平成20年9月

兵庫県立丹波の森公苑  
公苑長 中瀬 勲



## エッセー

# 「オオムラサキが舞う里」

寿命がまたのびた。女性の平均寿命85.8歳は、22年連続世界一である。長寿社会をどう生きていくかはだれにとっても大きな課題で、いろんな処方箋があるが、その中の面白い話。ある著名人の講師が「ずっと前向きでがんばっていこう」と言ったところ、聴衆の一人が「老人の私には、前に控えているのは死だけだ。私は後ろ向いて、歩んで来た長い過去の道をふり返って楽しめたい」と言ったという。

この意見への是非はともかく、過去に楽しい想い出をたくさん持っていることは、余生に豊かさと余裕を与えてくれるのは確かなことだろう。とりわけ、子ども時代の楽しい想い出、あるいは幸福感をたくさん持つことは、大変大切なことだと思う。長い人生には山あり谷あり、苦しい時もある。そんな時、子どもの時の楽しい想い出は心のオアシスともなり、新たな勇気を与える源泉ともなる。

私の子どもの時の楽しい想い出の一つは、川あそびと昆虫採集である。いわゆる昆虫少年というやつで、夏休みには毎日補虫網と三角紙、毒瓶などの虫とりセット一式で武装して、炎天下をうろつきまわったものである。こういう経験は、話してみると意外に多くの人が共有している。電子機器が発達し一般に普及するまでは、子どもの主な遊び場は自然であった。川や山、野原や道路で、子どもたちは群れて遊んだ。自然を舞台にした仲間あそびを通じて、子どもたちは人間関係の基礎となる社会性を育てていったのである。残念ながら今の子どもは、自然ばなれがひどくなり、川あそびや虫とりからは遠ざかってしまった。子どもの世界に自然を取り戻すこと、それが子どもの健全育成に非常に重要なことだと思う。

森公苑の里山でオオムラサキの幼虫の飼育を始めたのは、子どもや大人に自然に親しんでもらう手がかりになればという想いからである。そしてもう一つ、一昨年（2005）のこの欄で「森への想い」として書いた、植物と動物が共生する真の森の実現への第一歩という願いもある。幸い大学で昆虫学を専攻した足立隆昭さんという適任者を得て、今年は広いネットケージの中でオオムラサキが56頭、見事に羽化した。これが大変評判になり、テレビや新聞によく取りあげられたので、阪神間からわざわざ来る人も多く、全部で500人近い見学者があったのは、とてもうれしいことだった。

私の少年時代は、今とちがって虫はいっぱいいた。小さな広場でもバッタやコオロギ、トンボはたくさんいたし、森へ入れば、ヒカゲチョウやジャノメチョウが飛びかっていた。しかし、オオムラサキは希少種で、めったにお目にかかるなかった。クヌギ酒場には、樹液に集まったヒオドシチョウやコムラサキなどのいろんな蝶や、ハチ、カブトムシなどが群がっていた。その中に女王としておさまっているオオムラサキを見つけた時の興奮と、それを捕った時の感動は、今想い出しても新鮮である。

飼育ケージの中で、幼虫はすくすく育っていった。幼虫の成育を見るのははじめてだった。本で知識としては知っていても、実物を見る感動はまた別である。例えば、オオムラサキの飼育が難しいのは、蚕を桑で育てるように榎の葉を採ってきて与える方法ではだめなのはなぜか、という理由がわかった。幼虫は特定の葉を行動拠点にし（お座敷と名づけたが）、採食に出かけ、またそこに戻ってきて休息するのである。だから、生きた榎でなければ採食行動ができるのだ。蛹を初めて見たときも感動した。榎の葉の形をし、透明な翡翠の彫刻のような蛹の姿、造化の妙にしばし見とれた。ちょっとさわってみて、まるで高圧電流にふれたようにとびあがった。緑の硬玉がぶるぶると激しく震動したのである。驚愕からさめて思った。こうして外敵を防いでいるのだろうと。一見硬い石のように見えるが、蝶になって飛び立つ日を夢見ている命の不思議に、またしても感動してしまうのである。何よりもうれしいことは、山田副部長を陣頭に、関係者全員が熱心に事を進めていることである。越冬幼虫は榎の落葉の裏にひそんで春を待つ。森づくり課の全員が冬の寒さの中で落ち葉全部を裏返して数えたところ、1256個体が見つかった。春が来ると活動を始め、1000頭ほどの美麗な大型の蝶が飛び立つだろう。そして、念願の放蝶も1~2年のうちに実現するだろう。

170本の榎、270本の櫟の植樹が大きく成長した。櫟からは樹液がしみ出し、カブトムシや蜂たちが来るようになった。榎が幼虫を育て、櫟が蝶を育て、オオムラサキが飛びかう森の公苑の実現も近いことだろう。夢がかなうには10年かかった。継続は力なりという。継続する努力だけが、夢をかなえてくれるのである。

平成20年9月

兵庫県立丹波の森公苑  
名誉公苑長 河合 雅雄

# 森トピックス

## 1. 丹波ビック栗の森 里山の恵に感謝するつどいを開催

### 丹波ビック栗の森を一般に開放



テープカット



21世紀・兵庫の森づくり記念植樹事業の一環として、平成13年4月に県民・各種団体等の参加を得て当公苑の里山に栗苗木の記念植樹を行い、その後も“丹波ビック栗の森”として補植や剪定などの手入れを図ってきたところ、ようやく収穫が可能となりました。

そこで、この機会にビック栗の森の整備に賛同、協力いただいた方々に成長した栗の木々の姿を報告すると同時に、一般の地域住民の方々にも栗の収穫を体験していただくために「里山の恵に感謝するつどい」を開催しました。

今後は、当苑の里山とのふれあいや環境学習事業の一環として、子どもたちや地域住民の方々に定期的な開放を行い、里山づくりへの理解と協力を呼びかけていきます。

〈実施結果〉 参加者	10/ 8	73名
	10/14	105名
	10/21	68名

## 2. 丹波の森公苑の里山で国蝶「オオムラサキ」の飼育実験を開始

### 国蝶オオムラサキの飼育ケージを設置



国蝶「オオムラサキ」

丹波の森構想の理念を踏まえ、自然を身近に親しむ森“森との語らいの場”づくりを推進するため、公苑内の里山の一角に国蝶オオムラサキの飼育ケージを設置し、平成19年4月にオオムラサキの幼虫を放虫して飼育実験を開始しました。そして6月22日には待望のオオムラサキの羽化が始まりました。

当苑内には、建設当時に現河合雅雄名誉公苑長の助言により、オオムラサキの食草であるエノキ（ニレ科エノキ属）が約170本植栽（全国でも有数の規模）されており、これらの環境条件を生かして、オオムラサキの自然繁殖をめざして飼育観察を進めています。

### 3. 鮫った小型ピアノ



鍵盤が51のアップライト型 小型ピアノ

シューベルティアーデ街角コンサート等で丹波各地をめぐり、地域のみなさんに親しまれてきた「小型ピアノ」(1950年製造)が、クラシック音楽を愛する多くの方々の善意によるピアノ救済募金で修復され「シューベルティアーデたんば2007」に甦りました。

これからも丹波地域いっぱいに交流の音を奏でます。

募金総額 178,295 円

### 4. シューベルティアーデたんば2007

#### 都市との交流が定着

#### 都市からの来丹者がますます増加



ファイナルコンサート  
中島悦子(2007のフランス)  
ヘンシェルカルテットによる弦楽五重奏

県立芸術文化センターでのPRコンサートを開催するにあたり、友の会会員6万人にチラシを配布するなど大規模なPRをした結果、都市住民を中心に当音楽祭を周知することができました。オープニング・サロンコンサートでは西宮から交流バス2台を運行し、ファイナルコンサートにおいては特別列車「シューベルティアーデ号」を運行し164名の参加者を得るなど、「都市との交流」を促進することができました。

また、街角コンサートでは、旧町の特性を生かし、地域住民参加型の活発なコンサートが実施されました。

## 5. 丹波地域民俗芸能の映像収録がスタート



守ろう 伝えよう 丹波の伝統「民俗芸能」谷村新発意おどり  
(丹波市立南小学校でのミニ民俗芸能祭)

丹波（篠山市・丹波市）の民俗芸能、伝統文化を地域の文化資源として再評価し、保存・継承の気運を醸成するとともに、地域の活性化を図るため実施している民俗芸能保存継承活動において、「丹波地域民俗芸能保存協議会」が開催されたほか、民俗芸能の映像収録が開始されました。

各地域に伝わる民俗芸能。特に丹波地域では、室町時代から江戸時代まで、様々な時代の芸能が継承されています。

こうした貴重な文化が後継者や資金不足で途絶えてしまわないよう民俗芸能保存・継承を支援しました。

- ・「丹波地域民俗芸能保存協議会」の開催

平成19年6月23日

- ・民俗芸能の映像収録開始

平成19年10月～

## 6. おさん茂兵衛新作浪曲発表ライブ上演

### 新作浪曲の「丹波情話 運命の名刀」の上演



地域住民のオペラへの関心を高め、丹波の文化を全国へ発信するために、平成14年度より創作・上演活動を行っている“おさん茂兵衛 丹波歌暦”が、今回は浪曲「おさん茂兵衛浪曲 新作発表ライブ」として上演され、丹波ならではの舞台芸術を提供しました。

開催日 平成20年3月22日

会 場 丹波の森公苑ホール

出 演 国本武春 春野恵子ほか

参加者 600人



上演のようす

## 7. 丹波の森研究所篠山分室を開設

### 篠山地域での活動拠点に



相談の様子

丹波の森研究所では、篠山地域での調査研究活動や活動支援体制の強化を図るため、丹波の森研究所篠山分室を6月1日に設置しました。

週2回、専門研究員1名を配置して地域づくりのアドバイスや情報提供などを行います。

開設日：6月1日～ 毎週2回（火・金）  
設置場所：篠山市東新町  
(旧篠山市社会福祉協議会篠山支部)

## 8. ささやまの森公園開園5周年記念式典開催

### まと 万兎の森開き、里山まつりで賑わう

ささやまの森公園は平成14年7月に開園し、5年が経過しました。

満開の桜咲く4月15日に来賓・一般客多数の出席の元、開園5周年記念式典を開催しました。

式典の他、地元小学生の鼓笛演奏 万兎の森開きに続き里山まつりで賑わった。5年間に10万に近い入場者を数え、その間の歩みを網羅した5周年記念誌も発行しました。



記念式典ようす（ささやまの森公園内）

## 9. 活動スタッフが「<sup>ま</sup><sup>と</sup>万兎の森」を造成・植樹



作業風景

公園内は255haと広大だが、活動拠点施設付近は人工林が多く野鳥や昆虫が少ない。そこで野鳥の好む実のなる木や昆虫の食性になる木を集めて植樹しました。

更に地面には蝶が好む花が咲く野草等を植え、小動物の森にする計画です。

(河合雅雄先生のペンネーム草山万兎から「<sup>くさやま</sup><sup>ま</sup><sup>と</sup>万兎の森」と命名)

# 活動方針

## ■基本方針

(財)兵庫丹波の森協会は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくり事業の展開とともに、「丹波の森公苑」と「ささやまの森公園」及び「丹波の森研究所」の管理運営を行っています。

丹波の森公苑は、豊かな自然の中で、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進するための拠点として、参画と協働を基調に、県民局との密接な連携のもと、篠山市・丹波市、関係機関・団体等と連携・協働して丹波らしさを活かした地域づくりを推進していきます。

## ■3つの推進テーマ■

- 生活創造活動への支援 … 人々の価値観に基づく多様なライフスタイルを創造するため、人材の育成、実践活動へのアドバイス、生涯学習機会の提供などの生活創造活動への支援を行う。
- 芸術文化の振興 … 人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に、また、他地域との交流等を通して、芸術文化の振興を図る。
- 森林文化の創造 … 人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するため、里山とのふれあい、里山創造活動の展開等“森遊び”の場を確保するなど森林文化の創造に取り組む。

## ■6つの推進目標■

- 住民主体の地域づくりを進める  
(学び事業)  
みんなで考え、実践することを基本に、地域づくりを学ぶ機会を増やす
- 住民主体の地域づくりを進める  
(実践事業)  
みんなで考え、実践することを基本に、地域づくりを実践する機会を増やす
- 丹波地域情報を全国に発信する  
地域づくり団体や機関が取り組んでいる活動や事業について、地域内はもとより全国に発信するなど、地域内外の住民と情報を共有し、地域づくりを共に進める
- 地域を愛する丹波っ子を育む  
次世代を担う子どもたちに、環境学習、里山、芸術、交流など様々な学習や体験の機会を設け、地域への理解や愛着心を育む
- 食と暮らしの安全・安心を支える  
みんなが安心して暮らせる地域づくりを進めるため、悪質商法や社会問題など様々な不安の解消を図る
- 豊かな芸術文化を育てる  
住民主体の芸術文化活動への支援と優れた芸術活動に親しむ機会の提供などを通じて、文化の香り豊かな地域づくりを進める

## 【丹波の森構想】

### ①自然と共に生きる地域社会の実現

人間も自然界の一員であることを認識して、自然と共に生きる地域社会の実現をめざします。

### ②潤いと安らぎのある地域社会の実現

素晴らしいふるさと景観をかけがいのない共有財産とする共通認識にたって、環境や景観の保全と創造を図り、潤いと安らぎのある豊かな地域社会の実現をめざします。

### ③活力のある開かれた地域社会の実現

地域風土を生かし、文化の十字路として、新しい地域文化を創造し活力のある開かれた地域社会の実現をめざします。

## ■みんなで丹波の森づくり■

丹波地域のすぐれた自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森（地域）づくりを推進するため、次の広域団体が事務局を丹波の森公苑に設置し、（財）兵庫丹波の森協会とともに参画と協働による地域づくりを推進しています。

### ○こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

丹波地域の各種団体の中間支援組織として各団体と重層的なネットワークを築きながら、連携・協働して“こころ豊かな美しい丹波”の実現を図る。

①実施事業	・研修会 ・地域団体活動パワーアップ事業
②啓発事業	・情報誌「ネットワーク」丹波貢の編集・発行・配布 ・県民運動E-News、森のe～なかまの支援（利活用促進の啓発）

### ○丹波文化団体協議会

丹波（篠山市・丹波市）地域内の文化団体が相互の緊密な連携のもとに研修を深め、芸術・文化の振興を図り、もって地域文化の向上に寄与する。

①実施事業	・丹波文化活動交流会 ・ふるさとの心うたう丹波音楽祭 ・丹波の森フェスティバル（丹波市茶華道連盟によるお茶席）など
②協賛事業	・丹波の森国際音楽祭シーベルティアーデたんば ・市民創作オペラ「おさん茂兵衛 丹波歌暦」
③兵庫県地域文化団体協議会 関係事業	・地域文化を考えるシンポジウム

### ○丹波消費者団体連絡協議会

丹波地区の消費者団体相互の連絡を密にし、消費者活動の推進を図る。

①くらしのクリエーター活動 支援事業	・くらしの通信講座 ・研修会
②ゴミ減量運動に関する事業	・夏の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・冬の買い物袋持参運動店頭キャンペーン
③学習会	・丹波の森「消費者のつどい」 ・金融学習会
④生・消・販売連携事業	・「おいしいごはんを食べよう県民運動」の推進 ・丹波の食育を推進する「こども料理教室」の開催

### ○丹波青少年本部

青少年の健全育成にかかる行政・団体等が連帯して、青少年の健全育成活動を強力に推進する。

①青少年を守り育てる活動の 推進	・ひょうごハート・ブリッジ運動の推進 ・丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進 など
②多様な体験活動の推進	・若者ゆうゆう広場事業の支援 ・たんば子ども塾の開催 ・子ども冒険ひろば事業の支援 など
③団体・グループなどの活動 の推進	・こころ豊かな人づくり 500人委員丹波OB会活動の支援 ・たんば青少年環境浄化啓発活動の支援
④地域活動の担い手の養成	・第10期こころ豊かな人づくり 500人委員会の開催

※他のグループ活動については、丹波の森公苑ホームページの“森のe～なかま”をご覧ください。

(URL : <http://www.tanba-mori.or.jp/bbs/index.html>)

# 丹波の森公苑 事業報告

2007年度に実施した丹波の森公苑の主要な事業・取り組みについては次のとおりです。

## 住民主体の地域づくりを進める 11 (学び事業)

- 丹波の森大学の開設
- 講座「丹波学」の開設
- 食文化体験講座の開設
- 丹波の森環境セミナーの開設
- 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開設
- 丹波の森「くらしの通信講座」の開設
- 県立大学特別公開講座の開設
- 地域高齢者大学事業「丹波OB大学」の開設
- 地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」の開設
- こころ豊かな人づくり500人委員会の運営(青少年本部)
- 丹波の森園芸教室の開設

## 住民主体の地域づくりを進める 12 (実践事業)

- ワインの森親善訪問事業の実施
- たんば田舎ぐらしフォーラムの開催
- 丹波の森研究所の活動
- たんば風景街道市民テーブル会議の開催
- 丹波の森フェスティバルの開催
- 森づくりボランティア活動事業の実施
- 地域づくり活動センター設置
- 花づくり研究員活動事業(ガーデニング教室)の実施
- 緑化事業の推進
- 子育て応援ネット事業の実施
- 県民交流広場事業の推進(県民局)
- 地域団体活動パワーアップ事業の実施(こころ豊かな美しい丹波地域推進会議)

## 丹波地域情報を全国に発信する 1

### 地域情報の発信

## 地域を愛する丹波っ子を育む 11

- 丹波の森子ども環境塾の開設
- 「縄文の森塾」の開設
- 丹波の森美術学校の開設
- トライヤー・ウィーク、インターンシップの受入れ
- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会の実施
- 子どもの冒険ひろばの支援(県民局)
- たんば子ども塾の開設(青少年本部)
- 丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進(青少年本部)
- 若者ゆうゆう広場の支援(青少年本部)
- 青少年を守り育てる県民スクラム運動の展開(青少年本部)
- 青少年活動コーディネーターの設置(青少年本部)

## 食と暮らしの安全・安心を支える 5

- ストップ・ザ・交通事故県民運動の推進
- 消費生活相談の実施
- 丹波地域消費者問題連絡会議の開催
- 消費生活情報の提供
- 地域ぐるみ安全対策事業の実施(県民局)

## 豊かな芸術文化を育てる

10

- 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし(第8集)の編集
- 丹波の森写真コンクールの実施
- 丹波の森演劇祭の開催
- 舞台芸術鑑賞機会の提供
- 丹波の森アートフェスティバルの開催
- ふるさとの心をうたう丹波音楽祭の実施
- 丹波文化活動交流会の実施
- 丹波合唱講習会の実施
- シユーベルティアーデたんば2007の開催
- 民俗芸能保存・継承支援事業の実施

## 住民主体の地域づくり(学びの事業)

### 丹波の森大学（第17期）の開設

#### ◇実施内容

丹波の森構想を推進し、森づくりの担い手となる人材を育成するため実施しました。

本年は、公開講座を田園交響ホールで行いました。国際日本文化研究センター所長 片倉もとこ氏による、テーマ「ゆとろぎの里、さら一むの里 ～アラビアから愛をこめて～」についての講演。また篠山市民センターで2回講義を行いました。

普通科コース 全10回講座 132名受講

7月19日（木）～12月6日（木）

（詳細は講座一覧に掲載）

#### ◇成果（自己評価等）

丹波の森構想に沿った個性的な地域づくり、それを支える人づくり、環境づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を組み合わせた講座を開催し、今後地域での活動に期待しています。



公開講座（田園交響ホール）

#### ◇20年度の予定

引き続き実施する。

協会事務局

### 講座「丹波学」の開設

#### ◇実施内容

地元のアマチュア研究者によって、1億4千万年～1億2千万年前の地層から発見された丹波の恐竜化石。この化石を中心に、篠山層群の成り立ちなどに焦点を当てた地学的自然観の形成から丹波の恐竜化石を活かした街づくりまで、幅広くみんなで学習し、丹波の魅力を探りました。5回開催。

参加者数 71名

（詳細は講座一覧に掲載）

#### ◇成果（自己評価等）

講座シリーズの最終回では丹波の恐竜化石を街づくりにどう活かすかのワークショップが行われましたが、一過性のブームに終わらず、10年単位の長期的な視野で取り組むべきという意見が多くかった。丹波の恐竜文化をどう育てていくかが、市民に与えられた大きな課題です。



丹波を歩く《現地学習のようす》

#### ◇20年度の予定

学習テーマ「もう一度学びたい丹波の城～秘められた城主・人物伝」を8～10月に開催する。

文化振興部

## 兵庫県生活創造大学

### 食文化体験講座の開設

#### ◇実施内容

人と自然と文化の調和した地域づくりをめざす「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、多彩な地域資源を有する丹波地域を中心とする食文化の再発見などを通じて主体的な地域づくりに結びついた学習機会を提供しました。

(受講者数 43名)

(詳細は講座一覧に掲載)

#### ◇成果（自己評価等）

丹波の食材を見直し、新たなメニューや調理方法に挑戦した結果、食だけでなく地域の再発見にも繋がりました。兵庫県生活創造大学が事業終了したため、今後は自主運営できるように支援していく必要があります。

#### ◇20年度の予定

実行委員会の企画運営による「食文化講座」を開設。8月から12月の6回講座で、地産地消、身土不二について考える。

文化振興部



第5回見て歩き（こうべ環境未来館）

## 兵庫県生活創造大学

### 丹波の森環境セミナーの開設

#### ◇実施内容

9月9日～9月30日までの延べ5日間において、体験学習や現地学習を通して、「環境」を意識したライフスタイルについて考えながら意見交換や体験など、延べ16時間の講座を開催しました。

(詳細は講座一覧に掲載)

#### ◇成果（自己評価等）

受講者数は21名で15名が修了しました。

日頃から生活の中で取り組んでいるエコに関する工夫を紹介し合うなど、実生活の中で取り入れることのできる情報が得られたことについて極めて高い評価を得ました。

#### ◇20年度の予定

廃止



「事業者の工夫・考え方」（株式会社 西山酒造場）

相談担当

## 兵庫県生活創造大学（地域密着型実践体験講座） 丹波の森子どもミュージカル体験塾（第6期）の開設

### ◇実施内容

将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験の機会を提供することにより、豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験することにより、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため実施しました。

参加者 51名

レッスン 7月21日～10月26日（11回）

発表公演 10月27日 「ヘンゼルとグレーテル」

（「劇団フジ」の俳優との共演）

（詳細は講座一覧に掲載）

### ◇成果（自己評価等）

今年度は、はじめてオーディションを実施。真剣な気持ちが伝わってくる緊張感あふれるオーディションとなりました。定員を大きく超える応募者があり、ミュージカルをはじめ、舞台芸術に対して子どもたちの関心がより高まっていることが感じられました。



劇団員と記念撮影

### ◇20年度の予定

レッスン 7/26～10/24（11回）

発表公演 10/25 「フランダースの犬」

（「劇団フジ」の俳優との共演）

文化振興部

## 生活創造活動支援事業 丹波の森「くらしの通信講座」の開設

### ◇実施内容

9月～2月の間、「介護保険はだれのもの」、「靴と足の健康」、「新エネルギーの推進」、「多重債務の法律問題について」、「JAS法に基づく食品の表示について」に関するテキストを5回送付し、それぞれの課題への解答を求めるとともに、スクーリングとして講演会「多重債務の法律問題について（講師 篠山法律事務所 西端裕子弁護士）」を実施しました。

### ◇成果（自己評価等）

いろいろな内容を気軽に自宅で学習する講座として、募集人員100人に対して94人が受講し72人が修了しました。

### ◇20年度の予定

「裁判員制度って何?」、「悪徳商法関係」、「食の安全－食品添加物－」、「金融商品を考える－暮らしのリスクプラン」、「終の棲家（すみか）を考える」のテキストを5回送付し、



「くらしの通信講座」スクーリング

最後にスクーリングを実施する

相談担当

## 県立大学特別公開講座の開設

### ◇実施内容

住民の生涯学習の一環として、大学の特色を生かした学習内容を地域にいながらにして学べる公開講座を実施しました。

#### テーマ

「人と関わる自然、自然と関わる人々」

講演回数 全 5 回

受講生 32 名（内 31 名修了証書授与）

（詳細は講座一覧に掲載）

### ◇成果（自己評価等）

自然環境の異なる 5 つの地域において、それぞれ異なる角度からそこでの人間と自然の関わりについて学び、それらの違いは、自分の住む地域におけるより良い自然との関わり方について新しい見方（関わり方）を考える好機となりました。

### ◇20 年度の予定

特別公開講座を 7 月に実施する。

文化振興部



講義風景

## 兵庫県地域高齢者大学 4 年制大学講座

## 「丹波 OB 大学」の開設

### ◇実施内容

高齢者の生涯学習の一環として、交流と学習の機会を提供するとともに、魅力ある地域社会を創り出す実践者を育成するため実施しました。

#### 講座 教養講座

専門講座（①健康福祉コース・②地域文化コース・③生活創造コース）

#### オープン学習

#### 地域実践の日

クラブ活動（グラウンドゴルフ・歌謡教室・絵手紙・ダンス・花づくり）

受講者数 232 名

開講日 5 月 9 日～2 月 13 日（全 18 回）

日 程 9:30～朝の集い

10:30～教養講座

13:00～専門講座

14:30～クラブ活動

（詳細は講座一覧に掲載）



オープン学習のようす

### ◇成果（自己評価等）

地域別研修の機会を設け、交流を促すとともに、地域社会への貢献活動の足がかりとなるよう配慮しました。その結果、地域の絆が更に強くなり、地域実践活動以外にも新たな動きが見られるようになりました。

### ◇20 年度の予定 5 月 8 日～2 月 18 日

文化振興部

## 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座 「丹波OB大学大学院」の開設

### ◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講座 1年次（25名） 講義、課題演習、事例研究  
2年次（18名） 講義、地域実践活動

開講日 5月16日～3月5日（全20回）

### ◇成果（自己評価等）

2年生は、第1回目の実践活動（4～5月）をグループ毎に振り返り、新たな課題を設定して第2回目の実践活動を行うことで、ボランティア活動をより充実させることができました。特に、地域の昔話を題材に紙芝居を作成したグループは、新たな地域への関心が生まれ、活動意欲が高まりました。



地域実践活動（福祉施設訪問活動）

1年生は、実践活動のための基礎講座をカリキュラムに定着させ、地域活動の実践力アップにつながりました。

◇20年度の予定 5月14日～3月11日

文化振興部

## 第10期

### こころ豊かな人づくり500人委員会の運営

#### ◇実施内容

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、青少年育成活動や地域づくり活動に関して、主体的・能動的に参画する地域の担い手を養成するため、各種学習、実践の場を提供しました。

（1期2年）。（詳細は講座一覧に掲載）

- 全県セミナー (年2単位)
- ブロック別カリキュラム (年8単位)
  - 専門セミナー (年4単位)
  - 実践セミナー (年4単位)
- 自主グループ研修 (年間随時)

#### ◇成果（自己評価等）

第10期500人委員会を開講しました。

丹波地域内委員数は、44名。自主グループは「青少年育成」、「野外活動・レクリエーション」、「男女共同参画・人権」、「自然・環境」、「ボランティア・福祉」で編成し、年間を通じて積極的な自主研修が展開されました。



第10期500人委員会全県セミナー（開講式）

#### ◇20年度の予定

第10期こころ豊かな人づくり500人委員会  
後期の1年間のセミナーを開催予定

県民運動課（丹波青少年本部）

## 兵庫県生活創造大学

### 「丹波の森園芸教室」の開設

#### ◇実施内容

ガーデンデザインや植栽技法の知識を修得するとともに、花と緑あふれる美しい丹波づくりへの実践者等の交流を図りました。

(詳細は講座一覧に記載)

#### ◇成果

植物の適性やガーデン管理の基礎知識を学び、実習講座や但馬高原植物園の現地学習を加えてより実践的講座として好評を得ました。

#### ◇20年度の予定

花づくり研究員活動事業の一環として改編して実施する。



屋外での実習の様子

森づくり課

## 住民主体の地域づくり(事業実践)

### 国際交流事業

#### 第16回ウィーンの森親善訪問事業の実施

##### ◇実施内容

「美しい森の視察と音楽の旅」をテーマに、  
ウィーンの森を視察し、姉妹提携をしている  
ウィーン市13区を表敬訪問しました。森づくりに誇りをもって取り組んでおられる人々と  
交流し、また本場での音楽の鑑賞をしました。



第1回ウィーンの森親善訪問団が植樹した桜の木

##### と再会

##### ◇20年度の予定

第17回ウィーンの森親善訪問を行う。

協会事務局

## たんば田舎暮らしフォーラムの開催

### ◇実施内容

平成18年度の実施状況を見ながら、今年度においても  
都市部において2回フォーラムを開催しました。

この中で、丹波地域の魅力を都市住民に情報発信することにより、丹波地域の来訪を促すとともに、都市と農村の交流事業等を実施し、田舎暮らしの魅力を味わい、丹波の自然・文化とのふれあいを提供しました。

開催 4回目 9月 1日（土）

西宮市（フレンテホール）参加者188名

5回目 10月21日（土）

宝塚市（ソリオホール）参加者152名

内容 基調講演、パネルディスカッション、相談会

### ◇成果（自己評価等）

前年度の開催状況等から、潜在的な田舎暮らし希望者が  
多い中で、今年度においても都市部で2回実施し、340  
人の参加を得ました。丹波に暮らす実践者が本音で体験  
を語り意義のあるフォーラムとなりました。



フォーラムの様子

### ◇20年度の予定

地元丹波で、受け入れ側を招いた見本市形式  
のフォーラムを開催する。

協会事務局

# 丹波の森研究所の活動

## ◇実施内容

### 住民による地域づくり活動の支援

丹波の森研究所の研究員が丹波地域の13地区（校区）に入り、地域資源調査・コミュニティの形成などを住民とともに進め、集落・校区づくりを支援しました。

### 集落活性化戦略の確立

集落機能を果たせなくなる「限界集落」が全国的に問題となり、丹波地域でも将来的には心配されるので、若い世代のU・Iターンの促進などによる集落活性化戦略の検討を、昭和18年度から3年間計画で進めています。

特に19年度は、「戦略」に関する仮説とともに、丹波地域全域の570集落（自治会長）を対象にアンケートを行ったところ、高い関心が示され80%近い回答率がありました。

アンケート結果を反映しつつ、引き続き「戦略」づくりを進めていきます。

### 「緑条例」に基づく良好な地域づくりへの基礎調査とネットワークの形成

兵庫県が丹波地域などに重点的に適用している「緑条例」に関する基礎調査を進めると共に、「地区整備計画」策定などに取り組んだ活動団体（集落）のネットワークづくりを進めました。

また、これらの団体の交流と啓発のためのシンポジウムを景観形成重要建築物（篠山市大山・西尾邸）で開催しました。

### 風景街道の戦略づくり

この数年、進めてきた地域の骨格となる道の景観について、国の指定を受けた「風景街道」として進めるための「戦略」を策定しました。

さらに、風景街道主要ルートなどでの関連イベントの開催を支援し、推進住民組織「道えにし」の拡充を図りました。

### ライフツーリズムの推進

丹波地域の魅力アップと経済活性化へ向けて、都市部から憩いや自己実現の場、環境や“生きる力”的教育・学習の場として農村部（田舎）への期待が高まる中、ライフツーリズム（地域の暮らしに根ざしたツーリズム）について、平成17年度から地域のNPO法人などと組織した「コンソーシアム（協働組織）」で取組みました。前年に続き兵庫県の助成を受け、丹波地域でのツーリズム産業の育成へのインターネット・サイト「たびらぼ」の開発なども行いました。



森のまちづくりネットワークシンポジウム（篠山市・西尾邸）

### 恐竜を活かしたまちづくり計画の策定

平成18年8月に丹波市山南町上久下地域の篠山川で発見された世界的な恐竜骨格化石の発見を活かして、まちづくりを進めるための計画づくりを平成18年度待つから19年度を通じて進めました。

戦略プロジェクトとして、「（仮称）久下谷恐竜の里づくり計画」「恐竜から学ぶ自然教育メカ計画」

「丹波竜ツーリズム計画」などとともに、計画推進のために「推進会議」を設けることなどを提案しました。築城400年祭マスターplanなど 篠山の将来のまちづくり戦略の提案

09年に築城400年を迎える篠山市については祈念イベントを一過性ではなく、これを起点に新しいまちづくりを確立し進めることとなりました。

この戦略づくりを、記念イベント・美しい景観・篠山らしい住宅づくりにわたって進めました。

特に、記念イベントについては、理念からロゴデザインなどにわたる提案や市民などによる実行委員会立ち上げ支援などを行いました。

### 地域の人材ネットワークづくり

神戸大学農学部と連携して、丹波地域の人材を掘り起こし・活かしていくシステムづくりの検討を進めました。

### ◇成果（自己評価等）

丹波の地域づくりの基礎単位といえる集落の活性化について、全集落アンケートを行うなど、実証的に進めるよう努め、また集落を超えた校区づくりについても行政と協力しつつ推進しました。

こうした取組をベースに、道路景観・田舎体験・恐竜化石・城下町などの地域の魅力資源に光をあて、より積極的な地域づくりが進むよう努めました。

### ◇20年度の予定

引き続き、地域課題の推進に取り組んでいきます。

丹波の森研究所

## たんば風景街道市民テーブル会議の開催

### ◇実施内容

たんば三街道の中でも、早くから県景観条例による「デカンショ街道風景形成地域」の指定を受け、昨年3月に開催した「たんば風景街道フォーラム」において「デカンショ街道」をブランド化しようとの意見が出された国道372号に着目し、篠山市内の対象地域（6校区）の市民が一同にテーブルにつき、道を基軸にした地域づくりを考える会議を開催しました。

日 時：3月8日（土）9:00～12:30

会 場：篠山市民センター

内 容：丹波地域における取組報告、活動事例ビデオ紹介、テーブル会議（4テーブル）、発表会、ショート・トーク・セッション

参加者 62名

### ◇成果（自己評価等）

校区の異なる市民が、道つながりで枠組みを広げ地域づくりを考える活発な意見交換がなされ、道を軸線にして地域を捉えてみる場の形成となりました。



フォーラムの様子

### ◇20年度の予定

市民主体の道路景観形成を推進し、美しい丹波地域の形成への仕組みを構築する。

丹波の森研究所

## 丹波の森フェスティバルの開催

### ◇実施内容

総合部門：ふれあい交流広場（10月28日）

ふれあいステージ、フリーマーケット  
食コーナー、忍者ごっこ大会など

参加者：95団体・グループ、11,400人

文化部門：丹波の森演劇祭（10月27日～28日）

出演団体：4団体、162人

入場者：873人

丹波の森美術展（10月26日～31日）

入場者数：826人

スポーツ部門：6種目（ペタンク、グランドゴルフ

忍者ごっこ大会、ホッケー、フアミリーバトミントン、囲碁ポール

8月19日～11月25日 丹波、篠山市内

参加者数：延べ1,238人



中庭の様子

### ◇成果（自己評価等）

幅広い分野からの参加があり、地域のシンボルイベントとして定着してきました。

### ◇20年度の予定

引き続き実施する。

活動支援部・丹波の森フェスティバル実行委員会

## 森づくりボランティア活動事業の実施

### ◇実施内容

里山の魅力や大切さを共に考え、身近な里山づくりを促進していくため、森づくりの技法・知識、森を活用したソフト事業のノウハウを習得し、森を守り育てる人材を養成しました。

#### 第8期森づくりスタッフ活動

10回実施 スタッフ数 39人

森づくり活動アドバイザー 2人設置

学校や団体等の森づくり・環境学習活動を支援  
里山俱楽部による森づくり活動を支援



里山整備のようす

### ◇成果（自己評価等）

本苑の里山を拠点として、多彩なボランティア活動が展開され、丹波地域外からの参加者も増え、都市部住民との交流も深まっている。

### ◇20年度の予定

新たに第9期森づくりスタッフを募集し、一層充実した活動を展開する。

森づくり課

## 地域づくり活動サポーターの設置

### ◇実施内容

「こころ豊かな美しい兵庫」をめざす県民運動を積極的に推進するため、活動団体等の民間と公的機関を結ぶパイプ役として活動する地域づくり活動サポーターを設置し、地域づくり活動を支援しました。

### ◇成果（自己評価等）

地域づくり活動団体に対して、情報発信や相談・アドバイスなど、様々な支援を行なったほか、各市の県民運動推進担当者との情報交換を行なうため定期的に会議を開催しました。

また、地域づくり活動の先進地域に赴き、現地住民との交流を通じて、その取り組みを学習しました。

### ◇20年度の予定

引き続き、地域づくり活動サポーターを設置し、県民運動を支援する。



県民運動推進会議の様子

県民運動課

## 花づくり研究員活動事業 「ガーデニング教室」の実施

### ◇実施内容

地域の緑化活動を推進するため、その知識・技術を有する人材を育成する教室を開催しました。

開催日 毎月原則第2木曜日

受講者 午前・午後の部 各40人

参加者数 延べ943人

(詳細は講座一覧に掲載)

### ◇成果(自己評価等)

地域住民の参加希望が多く、年間を通じた活動により、各参加者の花づくりを通じた交流が深まっている。

### ◇20年度の予定

長期(通年)講座に加え、短期講座を開催するなど、住民ニーズに沿った展開を図る。



寄せ植えづくり実習

森づくり課

## 緑化事業の推進

### ◇実施内容

地域住民の緑化活動を、資材の面から支援し、地域の緑化推進を図るとともに地域活動の輪が広がることを目的として、緑化活動グループ(自治会、老人会、NPO等)に花苗、花の土、肥料等を提供。1団体あたり、年間3万円相当額までの資材を提供。最長3か年まで助成しました。

### ◇成果(自己評価等)

篠山市、丹波市の緑化活動グループ54団体に花苗、肥料、土等を提供しました。

### ◇20年度の予定

丹波県民局管内の窓口が丹波県民局県土整備部まちづくり課へ移管となる。



緑化資材

森づくり課

## 子育て応援ネット事業の実施

### ◇実施内容

地域ぐるみで子育て家庭に対して支援を行うため、「たんば男女共同参画推進会議」を中心に、子育て支援に対する住民への普及啓発等を行いました。

### ◇成果（自己評価等）

「丹波地域の少子・子育て・家庭を考えるフォーラム子育て支援フォーラム」を2月3日に開催し、佐藤友美子 氏（サントリーワークス研究所部長）による講演「成熟社会を豊かに生きる」の他、たんば男女共同参画会議メンバー等による朗読劇が披露され、地域ぐるみで子育てを支援する意識の醸成に努めました。

### ◇20年度の予定

子育て家庭への見守り活動等を推進するための研修会や会議を開催する。



丹波地域の少子・子育て・家庭を考える  
フォーラム（朗読劇）

県民運動課

## 県民交流広場事業の推進

### ◇実施内容

小学校区単位のコミュニティとして、みんなが訪れ、集う空間としての「場」の整備と、子育て、防犯、環境、文化、まちづくり等多彩な「活動」を支援するため実施しました。

#### 平成19年度事業実施地区

- ・日置校区まちづくり協議会（篠山市日置小学校区）
- ・くもべまちづくり協議会（篠山市雲部小学校区）
- ・久下自治振興会（丹波市久下小学校区）
- ・前山地区自治振興会（丹波市前山小学校区）

### ◇成果（自己評価等）

各地域における活動拠点が整備され、子育て支援、防犯、防災など多彩な活動を通して、地域の活性化と世代間交流が促進されました。

### ◇20年度の予定

平成18年度から本格実施となり、平成22年度までの間事業実施校舎を募集する。



日置校区まちづくり協議会「中立舎」完成式

地域協働課（県民局）

## 地域団体活動パワーアップ事業の実施

### ◇実施内容

地域団体の活性化や魅力ある丹波づくりに向けて、各地域団体が共同利益の実現を目的として主体的に取り組む諸活動に対し、事業経費の一部を助成しました。

助成団体：34 団体

助成額：993 万円

### ◇成果（自己評価等）

事業を通して、交流のなかった地域団体が出会い、連携し、事業を実施することにより新しいネットワークができたなど、高い評価を得ました。

### ◇20 年度の予定

引き続き実施する。



特産物で元気づくり（丹波市春日町東中自治会）

県民運動課（こころ豊かな美しい丹波地域推進会議）

# 丹波地域の情報を全国に発信する

## 地域情報の発信

### ◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、生活創造・地域づくり活動等の地域情報を、「年報」、情報誌「丹波の森」やインターネットのホームページで発信しました。

- ・「年報 2006」の発行 1,000 部
- ・情報誌「丹波の森」の発行  
年2回（9月、3月：45,000部（丹波市、篠山市全戸配布））
- ・ホームページによる情報発信  
アクセス件数 23,821 件（平成 19 年度）

### ◇成果（自己評価等）

情報誌やHPを通じて兵庫丹波の森協会や丹波の森公苑、地域情報を幅広く発信することができました。

### ◇20年度の予定

地域の取り組みを幅広く発信するとともに、HP



ホームページ画面URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>

の見やすさ、利用しやすさを検討し、幅広い層からのご利用に供する。

企画・調査課

## 地域を愛する丹波つ子を育む

### 丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」の開設

#### ◇実施内容

丹波の森公苑里山を拠点に、地域活動団体のサポートを受けながら、子ども達が環境や自然の大切さを学ぶ体験事業を実施しました。

- ・塾 生 小学1年～6年生 41名
- ・活動期間 6月～平成20年3月 7回
- ・活動内容 カルタや紙芝居を使った環境学習、エコふろしきづくり、生き物調査、木工クラフトなど

#### ◇成果（自己評価等）

昨年の2倍の参加者を得て実施し、遊びや体験活動を通じて、子ども達の自然や環境への関心が高まるとともに、地域団体との連携が強まりました。

#### ◇20年度の予定

丹波縄文の森塾に改編して実施する。



エコかるたを使った学習

企画・調査課

### 里山とのふれあい事業

### 「縄文の森塾」の開設

#### ◇実施内容

人間が自然と最も密接な関係にあり、自然の恵みの中でいきていた「縄文時代」を体験することを目的に、森の中での様々な生活・自然体験を通して自然と親しみ、さらに自然や生命の大切さを体験しました。（参加者数 19名）

7月16日、8月3日～5日 縄文キャンプ

#### ◇成果（自己評価等）

キャンプ等の体験を通して、その自然を守り育むことの大切さを実感できる内容のものになりました。加えて、丹波地域で発見された恐竜化石の講話等を実施し、丹波地域はもとより、県内各地から参加した子ども達や地域間の人々との交流を深めることができました。



縄文の土器づくり

#### ◇20年度の予定

丹波の森公苑環境学習推進事業の一環として、「縄文の森塾」、及び「縄文キャンプ」を実施し自然の大切さや、環境について学ぶ機会とする。

森づくり課

## 丹波の森美術学校の開設

### ◇実施内容

芸術家を志す人に「創作の場」を提供し、次代を担う芸術家を育みます。また、子ども達が造形の楽しさを体験することを通して豊かな感性を育み、健全な青少年の育成に資することを目的として実施しました。

#### ①丹波の森子ども美術クラブ

「紙ねんどで作ろう！森の自然や生きものたち」

開催日 8月9日、8月12日

開催回数 2回（1コース、2日間）

参加者 小学1年生～6年生 34名

#### ②アトリエアーティスト

平賀 茉莉（1名1組）

滞在期間 8月5日～9月13日

滞在場所 アトリエ彫刻棟

### ◇成果（自己評価等）

彫刻アーティストの専門性を生かした立体制作指導で、子ども達は基礎的知識や発想力を身につけ、感性を伸ばしました。また、高校生を含む15名のボランティアスタッフの支援をいただき、子ども達が安全に創作を楽しむとともに、地域交流の場にもなり



美術クラブの様子

ました。

### ◇20年度の予定

丹波の森子ども美術クラブ

8月27日、8月28日（2コース・2日間）

アトリエアーティスト

1組（7月～9月 滞在）

文化振興部

## トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ

### ◇実施内容

職業体験の場の提供を通して、森公苑をよりよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設利用促進を図る機会として実施しました。

#### ○トライやる・ウィーク2007（中学生）

受入人数 6名（柏原、春日、市島中学校）

受入期間 6月5日～9日

体験内容 丹波の森公苑の利用促進を図る活動（樹木名札、シューベルティアーデ、オオムラサキPRポスター等の作製、環境整備等）

#### ○インターンシップ2007（高校生）

受入人数 2名（篠山産業高等学校）

受入期間 11月13日～16日

体験内容 丹波の森公苑の利用増進を図る活動（公苑見所ガイドの作製、環境整備等）



トライやる・ウィーク

### ◇成果（自己評価等）

丹波の森公苑をよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設の魅力を提案してもらう場とすることができました。

### ◇20年度の予定

受け入れを継続し、様々な体験活動を提供する。

企画・調査課

丹波の森フェスティバル  
**第3回丹波の森ふれあい中学生  
ソフトテニス大会 公苑長杯の実施**

◇実施内容

篠山市・丹波市の中学生が、本公苑のテニスコートを利用し、スポーツを通じて交流しました。

参加者

中学生（男子50ペア、女子50ペア）

試合形式

個人戦で全試合5ゲームマッチ。

予選はリーグ方式、決勝はトーナメント方式。

日 程 4月30日（月・祝）

受 付 8:30～

開 会 式 8:40～

競技開始 9:00～

表 彰 式 16:00～



表彰式のようす

◇成果（自己評価等）

中学生、指導者に多数参加いただき、熱戦が繰り広げられた。日頃の練習の成果を発揮する場として、また、スポーツを通じた交流を図る場として期待も大きく、春のさわやかな行事として定着してきました。

◇20年度の予定

5月3日（予備日5月4日）

文化振興部

## 子どもの冒険ひろばの支援

◇実施内容

子どもたちが旺盛な好奇心やエネルギーを発散させ、自分の責任で自由に遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の開設を支援しました。

- ・ 「たんばっ子ひろば」

実施団体：ナルク丹波

活動場所：大沢一号公園、里山ごんげんさん、丹波の森公苑ほか

- ・ 「子ども冒険ひろば」

実施団体：いぬいふくし村

活動場所：よし池公園、ささやまの森公園  
丹波の森公苑ほか



「たんばっ子ひろば」（丹波市 里山・ごんげんさん）

◇成果（自己評価等）

プレイリーダーの見守りのもと、子どもたちの体験活動の機会を広げるとともに、異世代との交流を深めることができました。

県民運動課（県民局）

◇20年度の予定

「たんばっ子ひろば」の開設を引き続き支援する。

## たんば子ども塾の開設

### ◇実施内容

丹波地域の7県立高校の生徒が講師となり、小学校の児童を対象に各校の特色を生かした講座を実施しました。

協力校 篠山鳳鳴高校、篠山産業高校、  
篠山産業高校東雲校・丹南校  
柏原高校、水上高校、水上西高校  
内容 科学実験、生物観察、機械工作、  
調理実習、国際理解など  
(詳細は講座一覧に掲載)

### ◇成果（自己評価等）

高校生の自立心を育む場として、高校の全面的な協力を得て実施することができました。小学校では味わえない体験ができ、保護者からも高い評価を得、毎年応募者が増加している。

### ◇20年度の予定

引き続き、丹波地域の7県立高校で実施する。

県民運動課（丹波青少年本部）



ドライアイスで遊ぼう！（県立柏原高等学校）

## 丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進

### ◇実施内容

青少年のマナーアップを図るため、啓発資料を活用し、各種会議・イベント等で啓発するほか、青少年育成関係者を対象に、「丹波地域思春期保健研修会」（12月14日、参加者82名）を開催しました。

### ◇成果（自己評価等）

健康福祉事務所と連携し、広く青少年育成関係者がつどい、地域全体で思春期保健を考えるきっかけをつくり、現代的な課題となってきていくDVについて学ぶ機会となりました。



丹波地域思春期保健研修会

### ◇20年度の予定

「現代的な青少年をめぐる諸問題」をテーマに実施する。

県民運動課（丹波青少年本部）

## 若者ゆうゆう広場の支援

### ◇実施内容

中・高校生を対象に、気軽に立ち寄り集まつた仲間と楽しく交流できる「若者ゆうゆう広場」の設置を支援しました。

- ・「ゆうゆうモクリンひろば」（実施主体：柏原町まちづくり協議会）
- ・「ゆうゆうかすが」（実施主体：丹波市社会福祉協議会）
- ・「ゆうゆうささやま」（実施主体：市民センター協議会）



「ゆうゆうささやま」

### ◇成果（自己評価等）

中・高校生が学校帰りなどに立ち寄り、ゆったりのんびりと好きなことをして過ごす「たまり場活動」やダンスなどの「サークル活動」により若者の自主的な活動の輪が広がりました。

県民運動課（丹波青少年本部）

### ◇20年度の予定

「ゆうゆうかすが」、「ゆうゆうささやま」の開設を引き続き支援する。

## 青少年を守り育てる 県民スクラム運動の展開

### ◇実施内容

青少年愛護活動推進員等の設置、「青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議」の開催（7月26日、参加者28名）、地域環境の整備及び啓発活動の展開等を行いました。

### ◇成果（自己評価等）

青少年に関わりのある業界、団体、機関と連携し、青少年の健全育成に対する住民の意識の高揚と大人の規範意識の醸成、社会環境浄化等を推進することができました。



青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議

### ◇20年度の予定

引き続き、業界、団体、関係機関の連携を強化し、青少年の健全育成を推進する。

県民運動課（丹波青少年本部）

## 青少年活動コーディネーターの設置

### ◇実施内容

青少年団体やグループ等の活動の促進を図るとともに、青少年や青少年活動団体の主体的な活動を支援するため、青少年活動コーディネーターを1名設置し、青少年交流サロンの開催、青少年活動に関する情報収集・提供、青少年団体活動のコーディネート等を実施しました。

### ◇成果（自己評価等）

青少年交流サロンの開催、青少年団体の活動のコーディネート等を行い、青少年活動を促進しました。

### ◇20年度の予定

引き続き青少年活動コーディネーターを設置し、青少年活動を支援する。



青少年交流サロンで出店

県民運動課（丹波青少年本部）

## 食と暮らしの安全・安心を支える

### ストップ・ザ・交通事故県民運動の推進

#### ◇実施内容

交通事故の減少と交通死亡事故の撲滅を図るため、関係機関・団体が連携して、交通事故防止を訴える街頭キャンペーン等の広報や啓発、シートベルト着用率調査等を実施しました。

#### ◇成果（自己評価等）

管内の死亡事故が多発したため、関係機関・団体の連携を緊密に行い、啓発活動の強化に努めました。

#### ◇20年度の予定

より効果的な結果が得られるよう、広報・啓発の充実を図る。



チラシやグッズを配付し交通安全の啓発活動

県民運動課

### 消費生活相談の実施

#### ◇実施内容

商品やサービスに関するトラブルをはじめ食に関する相談など、暮らしに関する様々な問い合わせに対して、生活情報活動アドバイザーが相談を実施しました。

相談受付 火曜日～日曜日  
9時～17時30分  
(月曜日と年末・年始は休み)

#### ◇成果（自己評価等）

平成19年度の相談受付件数は873件（うち苦情件数は725件）で、前年度と比較すると、25件（△2.8%）減少した。これはセミナーや出前講座など消費者にさまざまなトラブルについて周知し未然防止につながったためと思われる。しかし、架空請求などのトラブルは依然として後を絶たない。

#### ◇20年度の予定

引き続き相談を実施する。（土、日は予約相談のみ）



相談や問い合わせに応じている

相談担当

## 丹波地域消費者問題連絡会議の開催

### ◇実施内容

「悪質訪問販売」、「ヤミ金融」などの様々な消費者問題に対応するため、行政、警察、社会福祉協議会、司法書士会、弁護士会等関係機関が一堂に会し、情報交換などを行いました。

7月 4日 第1回会議開催

1月 23日 第2回会議開催



県、市、警察などによる情報交換

### ◇成果（自己評価等）

関係機関相互の連携が深まり、被害救済や未然防止のための緊密な情報交換ができました。

### ◇20年度の予定

年2回開催する。

相談担当

## 消費生活情報の提供

### ◇実施内容

消費トラブルの未然防止を図るための相談情報、関係法の解説、消費者団体の動向、講座案内などのオリジナル情報の提供を行いました。

- ・「消費生活相談」

毎月 15 日 1,300 部発行

市町・警察・マスコミなどに配布

- ・「情報活動にゅーす」

隔月（偶数月）の1日 2,300 部発行

### ◇成果（自己評価等）

相談情報が新聞記事になるケースや市町・団体の広報紙に掲載され、消費者被害の防止につながった。なお、出前講座も 29 回実施しました。

### ◇20年度の予定

今後、情報紙の配布先を広める。



情報誌「消費生活相談」・「情報活動にゅーす」、配布物

相談担当

## 地域ぐるみ安全対策事業の実施

### ◇実施内容

安全・安心の地域づくりをめざして、住民による自主的な防犯活動を展開する「まちづくり防犯グループ」の立ち上げや運営を支援しました。

### ◇成果（自己評価等）

子どもの見守りや、地域パトロールなど活発な防犯活動が展開され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という機運が高まっています。

### ◇20年度の予定

引き続きグループの結成を促進し、運営経費の助成、研修会の開催等により、活動の継続と広がりを支援する。



青色回転灯をつけたパトロール車による防犯活動

地域協働課（県民政局）

## 豊かな芸術文化を育てる

### 「丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし」（第八集）の編集

#### ◇実施内容

丹波の子ども達が心豊かに育ってほしいという願いから、丹波に伝わるむかしばなしを発刊するため、編集委員会を設置し、篠山市5話、丹波市6話の計11話を第八集として発行しました。

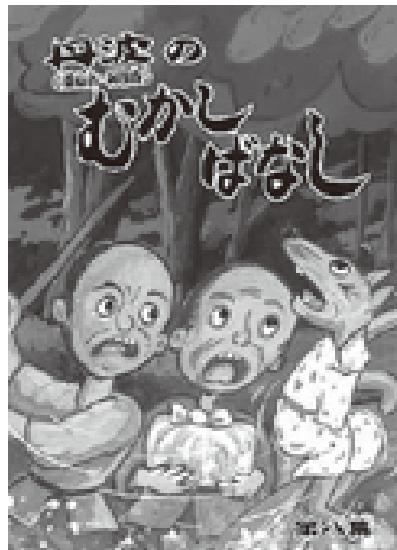
発行部数 2,000部

#### ◇成果（自己評価等）

むかしばなしの素晴らしさが地域に浸透し、子どもたちばかりでなく、あらゆる世代に親しまれています。

#### ◇20年度の予定

引き続き「丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし」（第九集）を編集し、発行する。



「丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし」  
(第八集) の表紙

協会事務局

## 第16回 丹波の森写真コンクールの実施

#### ◇実施内容

丹波のよさを知ってもらうため、今年度は「丹波の森を歩む」をテーマに作品募集を行い、写真展と表彰式を行いました。

- ①応募者数、点数：54名、104点
- ②写真展：4月26日～5月8日 丹波の森公苑  
5月14日～5月24日 篠山市民センター

#### ◇成果（自己評価等）

デジタルカメラによる写真撮影も可能にしたため、応募者も多く、関西一円からも応募がありました。

丹波の森公苑と篠山市民センターで写真展を開催し、多くの方々に鑑賞いただきました。



写真展（丹波の森公苑展示ギャラリー）

#### ◇20年度の予定

「丹波の森の癒しの風景」をテーマに作品を募集し、写真展と表彰を行う。

協会事務局

## 丹波の森演劇祭の開催

### ◇実施内容

地域住民の演劇に対する理解と関心を高めるとともに、演劇を通して感動と共感の輪を広げ地域交流を図るため開催しました。

開催日 10月27日・28日

会場 丹波の森公苑ホール

出演 劇団フジと丹波の森の子どもたち

劇研 椎の実

演劇塾 くろまめ

劇団 水彩パルチザン

参加者 873人

### ◇成果（自己評価）

各劇団がそれぞれの持ち味を存分に發揮した創作劇を披露するとともに、劇団相互の協力で舞台を運営しました。

今年6期目となった「子どもミュージカル」は、プロの劇団の指導を受けて積み上げた成果を力一杯に発表することができました。



劇団水彩パルチザンの上演1コマ

### ◇20年度の予定

丹波の森演劇祭 11月29日・30日

※ 20年度は、子どもミュージカル体験塾発表公演（10月25日）とは別々に開催する。

文化振興部

## 舞台芸術鑑賞機会の提供 丹波の森映画会「ハッピーフィート」

### ◇実施内容

演劇や音楽などの質の高い公演を定期的に自主企画して、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため19年度は映画会を実施しました。

丹波の森映画会「ハッピーフィート」

開催日 3月22日（土）14:00 開演

会場 たんば田園交響ホール

入場者数 700人

### ◇成果（自己評価）

家族での参加が多く、親子で楽しむ舞台芸術を提供することができました。



### ◇20年度の予定

宝くじ文化公演音楽座 ミュージカル

「リトルプリンス」

開催日 平成20年6月28日

会場 丹波の森公苑ホール

文化振興部

## 丹波の森アートフェスティバルの開催

(丹波の森美術展、丹波の森新春書き初め展、兵庫県文化賞受賞者小品展、展示ギャラリー)

### ◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を一堂に展示するとともに、世代や分野を超えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図るため開催しました。

#### ○丹波の森美術展

(日本画、洋画、彫刻・彫塑の部)

開催日 4月30日～5月6日

出展数 63点 入場者数 712人

#### ○丹波の森美術展(工芸、写真、書の部)

開催日 10月26日～10月31日

出展数 96点 入場者数 826人

#### ○2007兵庫県文化賞受賞者小品展

開催日 11月2日～4日

出展数 35点 入場者数 133人

#### ○第31回丹波の森新春書き初め展

開催日 1月25日～27日

会場 丹波の森公苑

出展数 800点 入場者数 1,600人

開催日 2月1日～3日

会場 篠山市立中央図書館

出展数 358点 入場者数 2,526人

#### ○展示ギャラリー

利用随時(利用日数 183日、利用率 58.1%)



丹波の森美術展

### ◇成果(自己評価等)

丹波の森美術展は今年度で37回目となるが、様々な表現の作品が集まり、審査員から全体の水準が高くなったとの講評を得ました。展示ギャラリーは、数多くの分野の作品展示で賑わいました。

### ◇20年度の予定

丹波の森美術展(春) 5月1日～5月6日

丹波の森美術展(秋) 9月17日～21日

2008兵庫県文化賞受賞者小品展

9月26日～28日

第32回丹波の森新春書き初め展

1月中旬～2月上旬

文化振興部

## ふるさとの心をうたう丹波音楽祭の実施

(第35回篠山・丹波合唱祭)

### ◇実施内容

音楽活動団体に交流と発表の場を提供し、活動団体の育成と文化活動の高揚を図りました。

開催日 11月25日(日)

会場 丹波の森公苑ホール

内容 丹波地域29団体による合唱祭

参加者 670名



発表公演

### ◇20年度の予定

開催日 11月30日(日)

会場 たんば田園交響ホール

文化振興部

### ◇成果(自己評価)

丹波地域の音楽活動団体の交流を図るとともに、地域の人々に生の音楽にふれる機会を提供できました。

## 丹波地域ふるさと芸術文化振興事業 丹波文化活動交流会の実施

### ◇ 実施内容

丹波文化団体協議会会員を中心とする作品展示  
及び公演

●開催日：平成 19 年 11 月 30 日（金）～12 月 2  
日（日）

●会 場：丹波の森公苑

①創作展示の部：書、絵画、水墨画、丹波布、  
川柳、盆栽、生花、彫刻、丹波の文化財情報  
作品数：195

②創作展示部門：体験・実演・解説コーナー

③公演の部：日本舞踊、民謡、謡曲、詩吟  
尺八、吹奏楽、歌唱など 25 団体

●参加人数：のべ 951 名

### ◇成果（自己評価）

丹波地域の各文化団体が展示、公演するだけ  
ではなく、次世代へ芸術文化を継承する新しい試み



創作展示部門体験コーナー（木彫）

として体験、実演、解説コーナーを設置した。参  
加者が見る、聴くだけではなく、さわるなど五感  
を通じての芸術文化とのふれあいは意義があつ  
た。

### ◇ 20 年度の予定

12 月 5 日（金）～7 日（日）

文化振興部

## 丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

## 丹波合唱講習会の実施

### ◇実施内容

丹波地域の合唱愛好家の育成と資質の向上を図るた  
め、合唱法及び日々の練習方法等について研修を深  
めました。

開催日 平成 20 年 3 月 16 日（日）

会 場 丹波の森公苑多目的ルーム

内 容 合唱法、練習方法等の研修

参加者 130 名

### ◇成果（自己評価等）

丹波地域の 15 団体の合唱サークルのメンバーや愛  
好者が多数参加し、合唱法及び練習法を学んだ。基  
礎的なところから少し高度な技術を学ぶことがで  
き、所期の目的を達成することができました。

### ◇20 年度の予定

平成 21 年 3 月 15 日（日）



講 習

文化振興部

# 講座一覧

## 丹波の森大学(第17期)

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	7月19日	【開講式】 宇宙を見る、人を知る	兵庫県立西はりま天文台公園長 黒田武彦
2	8月2日	ミレニアム生態系評価と里山	東京大学大学院教授 鷲谷いづみ
3	8月23日	弱さの力	大阪大学副学長 鷲田清一
4	9月6日	ごみ問題とライフスタイル	石川県立大学教授 高月 紘
5	9月22日	ゆとろぎの里、さらむの里 ～アラビアから愛をこめて～	国際日本文化研究センター所長 片倉もとこ
6	10月4日	人と動物の共存の道をさぐる	東京大学総合研究博物館長 林 良博
7	10月18日	現地研修	森林動物研究センター(丹波市) コウノトリの郷公園(豊岡市)
8	11月1日	豆の食べ方～世界と日本	国立民族学博物館名誉教授 石毛直道
9	11月22日	アニミズムの復権	国際日本文化研究センター教授 安田喜憲
10	12月6日	日本人の動物観と野生動物の保全 「閉講式」	京都大学名誉教授 丹波の森大学学長 河合雅雄

## 講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	8月18日	【開講式】・オリエンテーション	丹波の森公苑職員
		恐竜発掘最前線～ゴビ砂漠での調査活動～	林原生物化学研究所・古生物学研究センター 研究員 渡部 真人 氏
2	8月25日	シェルバの思い～恐竜発掘にたずさわって～	丹波竜発見者 足立 利氏
3	9月1日	世界的発見！～丹波の恐竜化石～	兵庫県立人と自然の博物館 研究員 三枝 春生 氏
4	9月8日	丹波を歩く ～丹波竜発掘現場及び篠山層群をたずねて	日本自然保護協会自然観察指導員 萩野 正裕 氏
5	9月15日	丹波竜を活かしたまちづくり～ワークショップの取り組みから～	丹波の森公苑長 中瀬 純氏 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 先山 徹 氏 研究員 嶽山 洋志 氏
		【閉講式】	丹波の森公苑担当者

## 平成19年度兵庫県生活創造大学「食文化体験講座」

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	9月17日	開講式 感謝の心で	たんば共創の森企画検討委員、丹波の森公苑職員 極楽寺住職 門脇弘嶽
2	10月20日	むかしながらを味わうには	ごりんかん運営委員長 芦田哲
3	11月23日	ちょっとすてきなティータイム	ボランティアグループ メロンパン
4	12月15日	ヒントDEヒント おせち料理	氷上町つたの会
5	1月26日	見て歩き 閉講式	兵庫県農生活センター、こうべ環境未来館 丹波の森公苑職員

平成19年度兵庫県生活創造大学「丹波の森環境セミナー」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	9月9日	【開講式】オリエンテーション 環境について考える	兵庫県地球温暖化防止活動推進員 黒谷 静佳
2	9月15日	体験学習1 環境を守る工夫	地域の実践家 八尾 由江
3	9月19日	施設見学 兵庫県森林動物研究センター	
		青垣いきものふれあいの里	
		丹波布伝承館	
		体験学習2 自然から学ぶ（草木集め） 同 草木染のオリジナルエコバッグ作成	丹波の森公苑担当者 薬草染め工房山南 藤本 登美
4	9月23日	まとめ	兵庫県地球温暖化防止活動推進員 黒谷 静佳
5	9月30日	【閉講式】	

平成19年度兵庫県生活創造大学「丹波の森園芸教室」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	10月4日	【開講式】オリエンテーション 講義 「植物の適性について」	但馬高原植物園 植栽主任 田丸 和美 (ガーデンマイスター)
2	10月18日	講義・実習「寄せ植え講習会」	
3	11月6日	講義「秋の植栽について」	
4	11月15日	講義「秋の終わりのガーデン管理について」	
5	11月29日	現地観察「但馬高原植物園」及びその周辺	

平成19年度兵庫県生活創造大学「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月21日	オーディション・開講式	丹波の森公苑職員 劇団フジ 田村 武之・劇団員
7月22日～8月16日	実習「基本段階」（5回）	
10月6日～10月26日	実習「表現力を高める」（5回）	
10月27日	発表公演	

県立大学特別講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	6月30日	人と関わる自然 自然と関わる人々 「減少する植物、増加する植物」	教授 藤原 道郎
2	7月7日	「巨樹を守る人々」	講師 大藪 崇司
3	7月14日	「マレーシア・サバ州の人と自然」	講師 石田 弘明
4	7月21日	「コウノトリと人が再び出会う里」	講師 菊地 直樹
5	7月28日	「ミツバチに学ぶ－日本と西洋の違い」	教授 大谷 剛

兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月9日	【開講式】	
		自治会総会	
2	5月23日	教養講座 「篠山層群と恐竜の化石」	日本自然保護協会 自然観察指導員 萩野 正裕
		健康福祉：「笑って笑って健康体操」	兵庫県体操指導研究所所長 石井宏典 ” 事務局長 石井直子
		地域文化：「恐竜化石発見と地学の楽しさ」	恐竜化石発見者 足立 洋
		生活創造：「宇宙から見た丹波の環境Ⅱ」	関西大学環境都市工学部建築学科 宮崎ひろ志
3	6月6日	教養講座「暮らしに役立つ法律相談」	丹波ひまわり基金法律事務所 弁護士 井村 華子
		健康福祉：「野辺の花に心寄せて」	華道「恵千会」主宰 白井順子
		地域文化：「丹波焼の伝統と新感覚の融合を求めて」	陶芸家 市野 勝穂
		生活創造：「環境と命」	篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会 谷口 功
4	6月20日	教養講座「参加しませんか 丹波のまちづくり～参画と協働のまちづくり～」	丹波の森研究所 専門研究員 横山 宜致
		学年別研修「地域実践の日に向けて」他	
5	7月4日	学 外 研 修（兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県広域防災センター）	
6	7月18日	教養講座：「丹波の民俗芸能～調査成果をふまえて～」	前丹波地域民俗芸能保存・継承活動調査委員 西尾 嘉美
		健康福祉：「脊椎ストレッチウォーキング入門」	健康運動実践指導者 上野 陽子ほか
		地域文化：「民俗芸能とまちづくり」	水無月祭鶴寿山打込囃子福住上自治会 堀口 隆男
		生活創造：「悪質商法の手口と対処法～消費者トラブルの予防に向けて～」	丹波の森公苑主任生活科学専門員 坂本 雅春
7	8月1日	教養講座：「野生動物との共存に向けて」	兵庫県立大学（森林動物研究センター）教授 室山 泰之
		健康福祉：「知っていますか？セラピードッグ」	NPO法人 日本レスキュー協会
		地域文化：「新聞記者から見る丹波の魅力」	丹波新聞社 萩野 祐一
		生活創造：「安全・安心な住まい方」	一級建築士 芦田 成人
8	8月22日	教養講座 「笑って 笑って 元気人」	mottoひょうご事務局長 栗木 剛
		学年別研修「運動会に向けて」	
9	9月5日	各 学 年 運 動 会 準 備	運 動 会
10	9月22日	教養講座〔丹波の森大学「『ゆとりぎの里、さらむの里』アラビアから愛をこめて」〕	国際日本文化研究センター所長 片倉もと子
11	10月3日	オープン学習	「生け花教室」白井順子 「團碁ボール」谷崎 止 「ウォーキング教室」大西之晴 「パソコン教室」丹波の森公苑職員
12	10月17日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会・丹波OB大学文化祭 「いただいた生命を生きる」	歌手 高石 ともや
		※午後：高齢者の主張、芸能発表、作品展	
13	11月7日	地 域 実 践 の 日	
14	11月21日	教養講座：「たたかわないがん治療、粒子線治療」	兵庫県立粒子線医療センター 院長 菱川 良夫
		健康福祉：「高齢者の健康づくり」	柏原健康福祉事務所長 清水 昌好
		地域文化：「氷上回廊が語る丹波の魅力」	氷上町郷土史研究会長 八木甫瑳子
		生活創造：「日本のエネルギー事情と今後の施策について」	関西電力姫路支 岩崎 一郎

		教養講座 丹波O B大学大学院生による実践発表	
15	12月5日	健康福祉：「音楽の魅力に導かれて ～こころとからだにビタミンを！～」	兵庫県音楽療法士会事務局副部長 細見 賴子
		地域文化：「大好きふるさと東芦田」	ごりんかん運営委員長 芦田 哲
		生活創造：「丹波の注目すべき動植物」	ささやまの森公園長 樋口 清一
16	1月16日	教養講座「心の庭に花を咲かせる」	丹波あじさい寺 観音寺 住職 小畠 実英
		健康福祉：先人に学ぶ「大切な食事と運動」	柏原赤十字病院管理栄養士 上野 千絵子
		地域文化：「丹波の魅力を知る・活かす」	丹波の森公苑活動支援部長 風 芳夫
		生活創造：「ハイクスエーツーの展望と実際」	NPO法人ハイクスエーツーたんば理事 東間 微
17	1月30日	教養講座「セルフチェック 楽しく健康づくり」	兵庫県立大学教授 西垣 利男
		学年別研修 「1年間のまとめと次年度に向けて」	
18	2月13日	修了式	
		記念講演 「凛々と生きる」	姫路市大覚寺住職 中西 玄禮

#### 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波O B大学大学院」 1年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	5月16日	【開講式】、オリエンテーション 講義「いつくしみの町をめざして」	古市自治会長 酒井 勝彦
2	5月30日	オリエンテーション	丹波の森公苑職員
3	6月13日	仲間づくり	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
4	6月27日	講義 「私が思う健康長寿のまちづくり」	ディナモ氷上体操クラブ 太田 一誠
5	7月11日	講義 「参加しませんか丹波のまちづくり」	(有)緑のまち研究所 代表取締役 横山 宜致
6	7月25日	講義 「施設訪問ができる！楽しい！レクレーション」	丹波地域レク指導協会 代表 吉田 等司
7	8月8日	講義 「丹波地域の環境美化を進める！」	丹波県民局県民生活部環境担当参事 矢内 健太郎
8	8月29日	講義 「学校と家庭と地域、子どもたちの教育は今！」	丹波の森公苑職員
9	9月12日	講義 「高齢者地域における防犯組織(体制)のあり方」	篠山警察署刑事生活安全課生活安全係巡査部長 山下 慎範
10	9月22日	丹波の森大学公開講座	
11	9月26日	学外研修	丹波の森公苑職員
12	10月10日	ボランティア活動 その意味と価値を知る。	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
13	10月17日	学ぶ高齢者の集い	
14	11月14日	ワークショップ「効果的なグループ運営を考える。」	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
15	11月28日	ワークショップ「コミュニケーションスキルを磨く。」	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
16	12月12日	ワークショップ「理想のまちをイメージしよう。」	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
17	1月23日	ワークショップ「まちの問題点を見つけよう。」	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
18	2月6日	ワークショップ「まちづくりの課題を明らかにしよう。」	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
19	2月20日	まとめ	丹波の森公苑職員
20	3月5日	修了式	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」2年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	5月16日	【開講式】、オリエンテーション 講義「いつくしみの町をめざして」	古市自治会長 酒井 勝彦
2	5月30日	実践の振り返り	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
3	6月13日	今後の実践に向けての話し合い	丹波の森公苑職員
4	6月27日	講義「地域ビジョン委員会『ひょうたん塾』の活動から思うこと」	地域ビジョン委員 松本 剛
5	7月11日	講義 「参加しませんか丹波のまちづくり」	(有)緑のまち研究所 代表取締役 横山 宜致
6	7月25日	講義 「施設訪問ができる！楽しい！レクレーション」	丹波地域レク指導協会 代表 吉田 等司
7	8月8日	実践活動の企画をつくる	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
8	8月29日	情報収集	丹波の森公苑職員
9	9月12日	企画書をつくる	丹波の森公苑職員
10	9月22日	丹波の森大学公開講座	
11	9月26日	学外研修	丹波の森公苑職員
12	10月10日	実践活動	
13	10月17日	学ぶ高齢者の集い	
14	11月14日	効果的なグループ運営を考える。	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一
15	11月28日	まとめの作成	丹波の森公苑職員
16	12月12日	まとめの作成	丹波の森公苑職員
17	1月23日	まとめの作成・原稿の提出	丹波の森公苑職員
18	2月6日	まとめの作成・校正	丹波の森公苑職員
19	2月20日	まとめ・修了式打合せ	丹波の森公苑職員
20	3月5日	修了式	社団法人兵庫県子ども会連合会 主事 浅見 真一

第10期こころ豊かな人づくり500人委員会

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月11日	「大人が変われば子どもも変わる －家庭のきずなの大切さ、親子を取り巻く環境－」	丹波青少年本部本部長 大木 康次
		「仲間づくりとコミュニケーション」	野外活動協会専務理事兼事務局長 清水 純夫
2	9月22日	「ゆとりぎの里、さらむの里－アラビアより愛をこめて－」	国際日本文化研究センター所長 片倉 もと子
3	10月28日	「丹波の森フェスティバル」 活動実践	500人委員会丹波OB会員
4	1月20日	「子育ては親育て」 ~テレビ寺子屋から学ぶ~	フリーアナウンサー 松田 朋恵
5	2月10日	「エコっとくりきーできることから始めよう!!－ OB会・10期自主研修グループ 実践発表	mottoひょうご事務局長 栗木 剛
		意見交換会	500人委員会丹波OB会員・500人委員会自主研修グループ
		「太極拳で心と体に健康を」	500人委員会丹波OB会員
			小屋敷 君代

ガーデニング教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	4月12日	実習① ハンギングバスケットを使った寄せ植え	坂本 正秀
2	5月10日	実習② 春を楽しむ山野草の苔玉づくり	坂本 正秀

3	6月14日	実習③ 夏の玄関を飾る寄せ植え	桐村 義孝
4	7月12日	実習④ 涼感を呼ぶ水辺の植物の寄せ植え	桐村 義孝
5	8月9日	実習⑤ 観葉植物の寄せ植え	坂本 正秀
6	9月13日	実習⑥ 多肉植物のタブローブ作り	桐村 義孝
7	10月11日	実習⑦ 秋を感じる山野草の寄せ植え	坂本 正秀
8	11月8日	実習⑧ クリスマスの洋花の寄せ植え	桐村 義孝
9	12月13日	実習⑨ お正月の玄関を飾る葉牡丹の寄せ植え	桐村 義孝
10	1月10日	実習⑩ 早春の洋花の寄せ植え	坂本 正秀
11	2月14日	実習⑪ 早春の草花盆景づくり	坂本 正秀
12	3月13日	実習⑫ 春の玄関を飾る寄せ植え	桐村 義孝

#### 丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	6月3日	開塾式 Stop! 地球温暖化（かるた、大型絵本による環境学習と丹波の森里山探検）	篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会 森づくり活動アドバイザー
2	7月22日	川の生き物調査	森づくり活動アドバイザー
3	8月	キッズクリーン大作戦（家族や友人と自宅付近で活動）	
4	9月9日	道具の学習（草木染めのふろしきづくり）	ささやまの森公園ボランティアスタッフ
5	11月17日	施設見学（県立人と自然の博物館）	森づくり活動アドバイザー
6	2月3日	地域の特産を知る（黒豆の話、黒豆料理）	たんば食育支援隊「丹い穂」 篠山市黒まめ課 特産物振興係長 赤松一也
7	3月15日	間伐材で工作（竹の一輪挿し） 閉塾式	森づくり活動アドバイザー

#### 里山とのふれあい事業「縄文の森塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月16日	【開講式】 基調講演「縄文文化について」 縄文土器づくり（成形）	京都大学名誉教授・丹波の森公苑名誉公苑長 河合 雅雄 陶芸家 宮本 ルリ子
8月3日～5日	縄文土器づくり（野焼き）	陶芸家 宮本 ルリ子
	火おこし器づくり	丹波年輪の里スタッフ
	縄文食体験	丹波の森公苑スタッフ 若狭三方博物館友の会（DokiDoki会）
	野鳥観察	丹波野鳥の会スタッフ
	夜間昆虫採集	ささやまの森公園 大塚 剛二
	丸木舟乗船体験	若狭三方縄文博物館スタッフ
	縄文Tシャツづくり	小山修三研究室 藤田 京子
	【閉講式】	縄文の森塾長（国立民族学博物館名誉教授） 小山 修三

丹波の森子ども美術クラブ

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月9日	「紙ねんどで作ろう！ 森の自然や生きものたち」	平賀 茉莉（彫刻家）
2	8月12日	同 上	平賀 茉莉（彫刻家）

たんば子ども塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月25日	【開講式】見つけよう!!水の中の生きもの	篠山産業高等学校丹南校 ホタル研究会
2	8月2日	ドライアイスで遊ぼう	柏原高等学校 理科部
3	8月7日	卵の不思議 作ってみよう ブリンとケーキ	氷上高等学校 生活科
4	8月18日	薪でご飯を炊こう	篠山産業高等学校東雲校
5	8月22日	機械工作教室 ロボットを作ろう！	篠山産業高等学校 機械研究部
6	8月24日	自分で星座を見つけよう	氷上西高等学校 理科同好会
7	8月29日	パイレーツ オブ 丹波 【閉講式】	篠山鳳鳴高等学校 国際共生コース

# 出前講座の状況

## 消費生活

回	開催日	場所	講座名	テーマ等	人数
1	4月16日(月)	栗柄ふれあいセンター	栗柄老人会総会	悪質商法の手口と対処法	65
2	4月23日(月)	大山神田荘	大山愛育班研修会	悪質商法の手口と対処法	15
3	4月29日(日)	丹波市立東小学校講堂	丹波市東地区長生会総会	悪質商法の手口と対処法	120
4	6月25日(月)	篠山市立日置小学校講堂	篠山市老人クラブ連合会城東支部	悪質商法の手口と対処法	450
5	6月28日(木)	篠山市立川西隣保館	篠山市川西隣保館地域コミュニティー活動	悪質商法の手口と対処法	20
6	7月5日(木)	篠山市後川文化センター	篠山市後川デイサービス	悪質商法の手口と対処法	35
7	7月18日(水)	丹波の森公苑創作工房	丹波〇B大学	悪質商法の手口と対処法	27
8	7月20日(金)	戸平公民館	戸平地区ふれあいいきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	20
9	7月28日(土)	七日市会館	七日市ふれあいいきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	15
10	7月20日(金)	丹波市青垣住民センター	青垣町消費者協会研修会	青垣町の消費生活と丹波の暮らし	55
11	8月19日(日)	山南薬草薬樹公園	丹波くすの木学級	悪質商法の手口と対処法	45
12	9月20日(木)	沼公民館	ボランティアグループ「たんぽぽ」研修会	悪質商法の手口と対処法	30
13	9月21日(金)	山南地区住民センター	山南地区婦人会・消費者協会研修会	悪質商法の手口と対処法	50
14	9月29日(水)	村森公民館	いきいきサロンむらもり	悪質商法の手口と対処法	40
15	10月11日(木)	青垣住民センター	青垣高齢者いきいき学習塾	悪質商法の手口と対処法	120
16	10月20日(土)	西谷生活改善センター	西谷いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	30
17	10月18日(水)	山南公民館	山南地区婦人会・消費者協会研修会	山南町の消費者問題と丹波の地域づくりの課題	50
18	11月2日(金)	市島区公民館	市島区自治会研修会	悪質商法の手口と対処法	60
19	11月7日(水)	新町公民館	柏原町新町婦人会研修会	悪質商法の手口と対処法	30
20	1月14日(水)	芝町公民館	春日町芝町自治会研修会	悪質商法の手口と対処法	50
21	1月17日(土)	大山小学校	大山校区自治会研修会	悪質商法の手口と対処法	120
22	1月20日(火)	丹波市役所第2会議室	丹波市相談窓口担当者研修会	悪質商法の手口と対処法	22
23	2月1日(金)	篠山市民センター	新任民生委員・児童委員研修会	悪質商法の手口と対処法	167
24	2月10日(日)	丹波の森公苑多目的ルーム	こころ豊かな人づくり500人委員会	レジ袋削減運動の取り組みについて	100
25	2月21日(木)	春日町商工会館	春日ライオンズクラブ研修会	悪質商法の手口と対処法	30
26	12月7日(金)	西紀老人福祉センター	篠山市高齢者大学	悪質商法の手口と対処法	50
27	2月29日(金)	乙河内公民館	市島地区消費者研修会	悪質商法の手口と対処法	30
28	3月7日(金)	木の根センター	柏原福祉センター昼食交流会	悪質商法の手口と対処法	110
29	3月18日(火)	和田自治会三省館	山南町和田中町いきいきサロン	悪質商法の手口と対処法	30

## 森づくり

回	開催日	場所	対象団体	テーマ等	人数
1	4月13日	氷上町本郷	西村氏	松の木の病害予防	1
2	4月19日	春日町古河公民館	坂下区長ほか	西山の里山復元について	5
3	4月21日	市島町上鶴阪	森脇氏ほか	里山造成指導	2
4	5月22日	山南町青田	村上氏	里山林整備	1
5	5月29日	上久下小学校	上久下小学校同窓会	里山整備	8
6	6月8日	市島町中竹田	中竹田管理会長ほか	里山づくり	6
7	7月26日	市島町中竹田	塩見氏ほか	里山林整備	8
8	8月11日	上久下小学校	上久下小学校同窓会	里山整備	8
9	8月18日	春日町古河	古河自治会	里山林整備	4
10	8月21日	上久下小学校	上久下小学校同窓会	里山整備	8
11	9月21日	上久下小学校	上久下小学校同窓会	里山整備	7
12	9月25日	市島町中竹田	塩見氏ほか	里山林整備	21
13	10月16日	市島町中竹田	塩見氏ほか	里山林整備	11
14	11月2日	市島町梶原	鶴神社	大杉落雷被害調査	2
15	11月13日	篠山産業高校	インターナンシップ	里山講義	2
16	11月17日	人と自然の博物館	エコキッズ	葉によるしおりづくり	24
17	12月9日	兵主神社	兵主神社	カエデの木の診断	2
18	2月8日	春日町古河	古河自治会	里山林整備	4
19	3月4日	山南町上久下	上久下小学校	里山樹木板取り付け	16

# 活動一覧

平成19年4月1日～平成20年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
<b>19年4月</b>		
6	未成年者飲酒防止街頭キャンペーン	バザールタウン篠山店
12	ガーデニング教室①	丹波の森公苑
	たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	丹波の森公苑
15	第8期森づくりスタッフ発足式	丹波の森公苑
	ささやまの森公園開園5周年記念式典	ささやまの森公園
24	丹波の森写真展（～5月8日）	丹波の森公苑
	丹波並木道中央公園円卓会議	篠山市民センター
28	丹波の森美術展審査講評会	丹波の森公苑
	第15回丹波の森写真コンクール表彰式	丹波の森公苑
30	丹波の森春の美術展（～5月6日）	丹波の森公苑
	丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯	丹波の森公苑
<b>5月</b>		
6	丹波の森春の美術展表彰式	丹波の森公苑
	里山俱楽部活動	丹波の森公苑
9	丹波OB大学開講式	丹波の森公苑
10	ガーデニング教室②	丹波の森公苑
	たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	丹波の森公苑
11	丹波の森写真展（～5月22日）	篠山市民センター
	春の交通安全運動出発式	丹波市青垣支所
15	丹波並木道中央公園森の円卓会議	篠山市民センター
16	丹波OB大学大学院開講式	丹波の森公苑
18	ふれあい劇場実行委員会	丹波の森公苑
19	丹波文化団体協議会総会	丹波の森公苑
20	ひょうご森の祭典2007出展	羅漢の森（相生市）
23	丹波OB大学	丹波の森公苑
26	丹波消費者団体連絡協議会総会	丹波の森公苑
	シユーベルティアーデたんば総会	お菓子の里丹波
	丹波並木道中央公園赤米田植え	丹波並木道中央公園
30	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
31	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
<b>6月</b>		
2	パワーアップ事業公開審査会	丹波の森公苑
3	丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」開塾式①	丹波の森公苑
5	トライやる・ウィーク受け入れ（～9日）	丹波の森公苑
6	丹波OB大学	丹波の森公苑
10	丹波の森ふれあい劇場	たんば田園交響ホール
11	平成18年度（財）兵庫丹波の森協会監事監査	丹波の森公苑
12	おさん茂兵衛実行委員会	丹波の森公苑
13	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
14	ガーデニング教室③	丹波の森公苑
	ささやまの森公園運営協議会	ささやまの森公園
	丹波のむかしばなし編集委員会専門部会	丹波の森公苑
17	森づくりスタッフ・里山俱楽部活動	丹波の森公苑
19	第61回（財）兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑
	丹波並木道中央公園円卓会議	篠山市民センター
20	丹波OB大学	丹波の森公苑
21	丹波青少年本部会議	丹波の森公苑
22	高校生通学列車指導	JR篠山口～福知山
23	丹波地域民俗芸能保存協議会	丹波の森公苑
26	ウイーンの森親善訪問（～7月3日）	オーストリアほか

27	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
30	こころ豊かな人づくり500人委員会・丹波OB会総会・交流会 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会 兵庫県立大学特別公開講座①	丹波悠遊の森 丹波の森公苑 丹波の森公苑
<b>7月</b>		
4	丹波OB大学学外研修 丹波地域消費者問題連絡会	人と自然の博物館ほか 柏原公民館
5	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
7	兵庫県立大学特別公開講座②	丹波の森公苑
8	縄文の森塾ボランティアリーダー研修会	丹波の森公苑
10	県高齢者生きがい創造協会丹波支部運営委員会 たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
11	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
12	ガーデニング教室④	丹波の森公苑
14	兵庫県立大学特別公開講座③	丹波の森公苑
15	森づくりスタッフ・里山俱楽部活動	丹波の森公苑
16	縄文の森塾開講式	丹波の森公苑
17	丹波並木道中央公園円卓会議 交通安全運動キャンペーン	篠山市民センター 篠山市内
18	丹波OB大学	丹波の森公苑
19	丹波の森大学開講式・第1回講義（講師：中瀬公苑長）	丹波の森公苑
20	こころ豊かな美しい丹波地域推進会議総会	篠山市四季の森学習センター
21	丹波の森子どもミュージカル体験塾オーディション・開講式 丹波並木道中央公園赤米・森づくり作業	丹波の森公苑 並木道中央公園
	兵庫県立大学特別公開講座④	丹波の森公苑
22	丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」② 丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑 丹波の森公苑
25	本監査 たんば子ども塾開講式①	丹波の森公苑 篠山産業高校丹南校
	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
26	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
28	丹波地域スクラム会議 おさん茂兵衛実行委員会総会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
	おさん茂兵衛実行委員会総会	丹波の森公苑
	兵庫県立大学特別公開講座⑤	丹波の森公苑
29	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
31	環境実態調査	丹波の森公苑 篠山市内
<b>8月</b>		
1	丹波OB大学 夏の交通事故防止運動キャンペーン ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑 丹波ひかみ農協山南支店 丹波の森公苑
2	丹波の森大学② たんば子ども塾②	丹波の森公苑 柏原高校
3	縄文の森塾「縄文キャンプ」（～5日） 丹波のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑・若狭 丹波の森公苑
4	県民交流広場事業広域推進委員会	篠山市民センター
7	たんば子ども塾③	水上高校
8	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
9	丹波の森子ども美術クラブ① ガーデニング教室⑤	丹波の森公苑 丹波の森公苑
	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
	たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	柏原公民館
10	環境実態調査 交通安全運動キャンペーン	丹波市内 丹南篠山口インターチェンジ
11	こころ豊かな人づくり500人委員会第1回丹波セミナー	丹波の森公苑
12	シューベルティアーデたんばPRコンサート	芸術文化センター

1 5	丹波の森子ども美術クラブ②	丹波の森公苑
1 6	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
1 8	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
1 8	たんば子ども塾④ 講座「丹波学」開講式①	篠山産業東雲校
2 1	丹波ブロック少年少女将棋大会	丹波の森公苑
	丹波並木道中央公園円卓会議	丹波の森公苑
2 2	丹波OB大学	篠山市民センター
	たんば子ども塾⑤	丹波の森公苑
	ステージオペレーター養成講座	篠山産業高校
	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
2 3	丹波の森大学③	丹波の森公苑
2 4	メダカの学校	丹波の森公苑
	たんば子ども塾⑥	丹波の森公苑
2 5	丹波並木道中央公園力カシづくり 講座「丹波学」②	氷上西高校
2 8	恐竜を活かしたまちづくり委員会	並木道中央公園
2 9	たんば子ども塾⑦閉講式 丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
3 0	兵庫県高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議及び高齢者のつどい実行委員会	丹波の森公苑
3 1	ユニバーサル社会づくり丹波地域推進会議	丹波の森公苑

## 9月

1	たんば・田舎暮らしフォーラム 講座「丹波学」③	フレンテホール（西宮市）
4	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
5	丹波OB大学	丹波の森公苑
	ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
6	丹波の森大学④	丹波の森公苑
8	講座「丹波学」④	丹波市内
9	シューベルティアーデたんばオープニングコンサート 丹波の森環境セミナー①	お菓子の里丹波
	丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」④	丹波の森公苑
1 2	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
	ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
1 3	丹波の森公苑運営委員会	丹波の森公苑
	ガーデニング教室⑥	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	篠山東中学校
1 4	県民交流広場事務説明会	丹波市役所
1 5	講座「丹波学」⑤ 丹波の森環境セミナー②	丹波の森公苑
1 7	食文化体験講座①（開講式）	丹波の森公苑
1 8	丹波並木道中央公園円卓会議	篠山市民センター
	恐竜を活かしたまちづくり調査策定委員会	氷上保健センター
1 9	丹波の森環境セミナー③ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	恐竜を活かしたまちづくり委員会	丹波市上久下
	集落活性化戦略ワーキング会議	篠山市四季の森学習センター
2 0	丹波の森大学同窓会総会	丹波の森公苑
2 1	丹波の森フェスティバル実行委員会総会	丹波の森公苑
	秋の交通安全運動出発式	道の駅「丹波おばあちゃんの里」
2 2	丹波の森大学⑤ 丹波OB大学、丹波OB大学大学院	たんば田園交響ホール
	こころ豊かな人づくり 500人委員会第2回丹波セミナー	たんば田園交響ホール
2 3	シューベルティアーデたんば協賛コンサート 丹波の森環境セミナー④	たんば田園交響ホール
2 4	山南町街角コンサート	フローラタウン市民センター
	森づくりスタッフ・里山俱楽部活動	丹波の森公苑
2 6	丹波OB大学大学院（校外学習）	久下村駅前
		丹波の森公苑

2 7	ステージオペレーター養成講座 丹波のむかしばなし編集委員会現地視察	丹波の森公苑 篠山、丹波市内
2 8	県民交流広場事務説明会	篠山市役所
3 0	今田街角コンサート	さぎそうホール
	シユーベルティアーデたんば協賛コンサート	小野市うるおい交流館
3 0	丹波の森環境セミナー⑤・閉講式	丹波の森公苑
<b>10月</b>		
1	キン・コン・カン・コンサート	黒井小学校
3	丹波OB大学	丹波の森公苑
4	丹波の森大学⑥	丹波の森公苑
	たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	丹波の森公苑
	丹波の森園芸教室開講式①	丹波の森公苑
	食育サポーター養成講座①	丹波の森公苑
5	キン・コン・カン・コンサート	柏原中学校
6	丹波の森子どもミュージカル体験塾（～7日）	丹波の森公苑
	青垣町街角コンサート	芦田小学校
	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
	丹波地域民俗芸能映像保存（～8日）	丹波市内
8	丹波ピッ栗の森里山に感謝するつどい	丹波の森公苑
9	丹波並木道中央公園円卓会議	篠山市民センター
10	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
11	ガーデニング教室⑦	丹波の森公苑
	キン・コン・カン・コンサート	篠山中学校、古市小学校
12	丹波の森大学専科講座	丹波の森公苑
13	丹波並木道中央公園稲刈り、黒豆収穫	並木道中央公園
14	丹波ピッ栗の森県民開放（9月21日、28日）	丹波の森公苑
	市島町街角コンサート	市島駅前ほか
16	たんば男女共同参画推進会議少子対策部会	丹波県民局
17	県学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会	丹波の森公苑
	丹波OB大学・丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
18	丹波の森園芸教室②	丹波の森公苑
	丹波の森大学⑦現地研修	豊岡市
20	丹波の森子どもミュージカル体験塾（～21）	丹波の森公苑
	食文化体験講座②	ごりんかん
	丹南街角コンサート	並木道中央公園
	春日町街角コンサート	下三井コミュニティセンター
21	たんば・田舎暮らしフォーラム	宝塚ソリオホール
	柏原町街角コンサート	柏原高校
23	キン・コン・カン・コンサート	崇広小学校、西小学校
24	丹波の森美術展審査・講評会	丹波の森公苑
	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
25	キン・コン・カン・コンサート	城北小、西紀小、大山小
26	丹波の森美術展（～31日）	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
27	丹波の森演劇祭	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演	水上中学校、船城小学校
	キン・コン・カン・コンサート	コミュニティカフェ
	篠山街角コンサート	龍駒山松隣寺
	西紀街角コンサート	丹波の森公苑
28	丹波の森フェスティバル	丹波の森公苑
	こころ豊かな人づくり500人委員会活動実践	丹波の森公苑
	水上町街角コンサート	南小学校
	シユーベルティアーデたんば協賛コンサート	ささやまの森公園
30	丹波地域集落活性化戦略調査委員会	篠山市四季の森学習センター
31	丹波の森美術展表彰式	丹波の森公苑
	丹波の森書き初め展実行委員会	丹波の森公苑

11月

- |    |  |                                 |
|----|--|---------------------------------|
| 1  | 丹波の森大学⑧<br>恐竜を活かしたまちづくり計画調査策定委員会<br>キン・コン・カン・コンサート   | 丹波の森公苑<br>上久下地域づくりセンター<br>大路小学校 |
| 3  | 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会                              | 丹波の森公苑                          |
| 6  | 丹波地域民俗芸能映像保存（裸祭り）                                    | 青垣町今出                           |
| 7  | 丹波の森園芸教室③  | 丹波の森公苑                          |
| 8  | 丹波O B大学「地域実践活動」                                      | 丹波管内                            |
| 9  | ガーデニング教室⑧  | 丹波の森公苑                          |
| 10 | 丹波O B大学大学院   | 春日町                             |
| 13 | シューベルティアーデたんぱファイナルコンサート<br>インターンシップ受入（～16日：篠山産業高校2名） | 丹波の森公苑<br>丹波の森公苑                |
| 14 | 花のある道づくり緑化資材配布                                       | 篠山市内                            |
| 14 | 食育サポーター養成講座②   | 丹波の森公苑                          |
| 14 | 県民局、丹波・篠山市、森協会連絡調整会議幹事会                              | 丹波の森公苑                          |
| 15 | 丹波O B大学大学院   | 丹波の森公苑                          |
| 15 | ステージオペレーター養成講座                                       | 丹波の森公苑                          |
| 15 | 丹波の森園芸教室④  | 丹波の森公苑                          |
| 17 | 森のまちづくりネットワークシンポジウム                                  | 大山西尾邸                           |
| 17 | ミニ民俗芸能祭（谷村新発意踊り）                                     | 南小学校                            |
| 18 | 丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」⑤                                | 人と自然の博物館                        |
| 18 | 森づくりスタッフ、里山俱楽部活動                                     | 丹波の森公苑                          |
| 21 | 丹波O B大学<br>(財)兵庫丹波の森協会監査                             | 丹波の森公苑                          |
|    | 県民局、丹波・篠山市、森協会連絡調整会議                                 | 丹波の森公苑                          |
|    | ステージオペレーター養成講座                                       | 丹波の森公苑                          |
| 22 | 丹波O B大学同窓会文化祭  | 丹波の森公苑                          |
| 23 | 丹波の森大学⑨<br>キン・コン・カン・コンサート                            | 丹波の森公苑                          |
| 23 | 食文化体験講座③   | 篠山市民センター                        |
| 23 | ミニ民俗芸能祭  | 遠阪小学校、篠山小学校                     |
| 25 | ふるさとの心をうたう丹波音楽祭                                      | 丹波の森公苑                          |
| 27 | 花のある道づくり緑化資材配布                                       | 篠山小学校                           |
| 28 | 丹波の森大学専科（現地研修）                                       | 丹波の森公苑                          |
|    | 丹波O B大学大学院   | 丹波市内                            |
|    | ステージオペレーター養成講座                                       | 和田山方面                           |
| 29 | 丹波の森園芸教室⑤  | 丹波の森公苑                          |
| 30 | 丹波文化活動交流会展示（～2日）                                     | 丹波の森公苑                          |
|    | 高校生通学列車指導  | I.R                             |

12月

- |     |                           |         |
|-----|---------------------------|---------|
| 1   | 丹波文化活動交流会「体験・実演・解説コーナー」開設 | 丹波の森公苑  |
| 2   | 丹波文化活動交流会 公演              | 丹波の森公苑  |
| 3   | 食育サポーター養成講座               | 氷上町北幼稚園 |
| 4   | 食育サポーター養成講座               | 芦田保育園   |
|     | 食育サポーター養成講座               | 丹波の森公苑  |
|     | 年末交通事故防止キャンペーン            | 市島町     |
| 5   | 丹波OB大学                    | 丹波の森公苑  |
|     | ステージオペレーター養成講座            | 丹波の森公苑  |
|     | 食育サポーター養成講座               | 芦田保育園   |
| 6   | 丹波の森大学⑩・閉校式               | 丹波の森公苑  |
| 7   | 県民交流広場フォーラム               | 丹波の森公苑  |
| 1 1 | 環境実態調査                    | 篠山市     |
| 1 2 | 丹波OB大学大学院                 | 丹波の森公苑  |
|     | ステージオペレーター養成講座            | 丹波の森公苑  |
| 1 3 | ガーデニング教室⑧                 | 丹波の森公苑  |
|     | 環境実態調査                    | 丹波市内    |
| 1 4 | 丹波青少年本部マナーアップ研修           | 丹波の森公苑  |
| 1 5 | 食文化体験講座④                  | 丹波の森公苑  |
| 1 6 | 森づくりスタッフ、里山俱楽部活動          | 丹波の森公苑  |

1 8	たんば風景街道戦略プラン策定委員会 県民交流広場説明会（～21）	丹波の森公苑 丹波市内
2 1	こころ豊かな美しい丹波地域推進会議・青少年本部合同会議	丹波の森公苑
<b>20年1月</b>		
1 0	ガーデニング教室⑩	丹波の森公苑
1 4	丹波地域民俗芸能映像保存（蛇ない）	山南町
1 6	丹波OB大学 ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
1 7	ふるさと文化振興事業実行委員会文化活動部会 「たんば道えにし」代表会議	丹波の森公苑
1 8	出納事務局事務指導	丹波の森公苑
2 0	500人委員会丹波セミナー	丹波市ポップアップホール
2 3	丹波OB大学大学院 ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
	丹波消費者問題連絡会議	柏原公民館
	丹波の森大学専科（現地視察）	篠山市内
2 4	第31回丹波の森新春書き初め展審査会	丹波の森公苑
2 5	第31回丹波の森新春書き初め展（～1月27日） 生活設計講習会	丹波の森公苑
2 6	食文化体験講座⑤・閉講式	県楽農生活センター
2 9	食育サポートー養成講座	丹波の森公苑
3 0	丹波OB大学 ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
	食育サポートー養成講座	丹波の森公苑
<b>2月</b>		
1	第31回丹波の森新春書き初め展（～2月3日） 丹波OB大学運営委員会	篠山市立中央図書館
3	丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」⑥ 少子・子育て・家庭を考えるフォーラム	丹波の森公苑
	丹波地域民俗芸能映像保存（粥占い）	丹波の森公苑
6	丹波OB大学大学院 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
7	たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	丹波の森公苑
8	企業の森づくり検討委員会	四季の森生涯学習センター
9	丹波の文化とまちづくりを考える会	丹波の森公苑
1 0	500人委員会丹波セミナー 森づくりスタッフ、里山俱楽部活動	丹波の森公苑
1 1	丹波地域民俗芸能映像保存（鬼こそ）	丹波の森公苑
1 3	丹波OB大学（修了式）	常勝寺
1 4	ガーデニング教室⑪	丹波の森公苑
1 6	くらしの通信講座スクリーニング・閉講式 くらしのクリエーター研修会	丹波の森公苑
2 0	丹波OB大学大学院 ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
2 1	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
2 2	ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会	柏原福利センター
2 6	「たんば道えにし」委員会	丹波の森公苑
2 7	丹波の森公苑運営委員会「芸術文化部会」 ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
2 8	たんば男女共同参画推進会議少子対策部会	丹波の森公苑
<b>3月</b>		
1	「たんば道えにし」先進地視察研修 丹波の森消費者の集い	豊田市足助町 丹波の森公苑
5	丹波OB大学大学院（修了式） ステージオペレーター養成講座	丹波の森公苑
6	たんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会	丹波の森公苑

7	兵庫県高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議	丹波の森公苑
8	「たんば道えにし」デカンショ街道市民テーブル会議	篠山市民センター
12	人材ネットワーク地域登録員制度説明会	丹波の森協会篠山分室
	ステージオペレーター養成講座（修了式）	丹波の森公苑
13	ガーデニング教室⑪	丹波の森公苑
	丹波の森公苑運営委員会「人と自然部会」	丹波の森公苑
14	こころ豊かな美しい丹波地域推進会議先進地視察	宍粟市方面
15	丹波の森子ども環境塾「エコキッズクラブ」⑦閉講式	丹波の森公苑
16	丹波合唱講習会	丹波の森公苑
19	第25回丹波の森公苑運営委員会	丹波の森公苑
	ささやまの森公園運営協議会	ささやまの森公園
	集落活性化戦略調査ワーキング部会	四季の森生涯学習センター
22	パワーアップ事業報告会	丹南健康福祉センター
	丹波の森映画会	田園交響ホール
22	おさん茂兵衛浪曲ライブ	丹波の森公苑
23	森づくりスタッフ、里山俱楽部活動	丹波の森公苑
25	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波の森公苑
27	こころ豊かな美しい丹波地域推進会議理事会	丹波の森公苑
28	(財)兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑
	ひょうご風景街道戦略プラン策定委員会	丹波の森公苑
	青少年健全育成研修会	青垣住民センター
29	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑

# 施設利用一覧

## ホール利用団体

団体	地域	団体	地域
ジョイフル	丹波市	丹波地域の医療を守る会	丹波市
明治ナショナル工業労働組合	丹波市	劇研椎の実	丹波市
連合兵庫丹波地域協議会	丹波市	(株) J P N	大阪市
神戸新聞社	神戸市	丹波市立柏原中学校	丹波市
Lumi snow production	丹波市	民主党兵庫県第5区総支部	篠山市
丹波市音楽協会	丹波市	高齢者生きがい創造協会丹波支部	丹波市
(社) 柏原納税協会	丹波市	県立柏原高等学校	丹波市
日本フルハップ	大阪市	ふるさとキャラバン丹波公演実行委員会	丹波市
県立柏原高等学校コーラス部	丹波市	ぐるーぷ架け橋総合文化村	播磨町
西宮社会保険事務所	西宮市	兵庫県中学校総合文化祭丹有大会実行委員会	三田市
丹波新聞社	丹波市	丹波市教育委員会	丹波市
丹波ひかみ農業協同組合	丹波市	シューベルティアーテ 実行委員会	丹波市
内田先生の喜寿を祝う会	丹波市	氷上吹奏楽団	丹波市
兵庫県介護支援専門員協会	神戸市	丹波市介護保険サービス事業者協議会	丹波市
(株) 北近畿クボタ	丹波市	兵庫県高等学校吹奏楽連盟	尼崎市
西崎 祥 舞踊研究所	丹波市	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波市
公明党兵庫県本部	神戸市	関西音楽専門学院	丹波市
雅愛	丹波市	ふるさと民謡まつり実行委員会	丹波市
丹波市吹奏楽連盟	丹波市	生長の家兵庫県教化部	神戸市
丹波市氷上中央コーラス	丹波市	中兵庫信用金庫	丹波市
県立柏原高等学校吹奏楽部	丹波市	深山流扇鶴会	丹波市
兵庫県教職員組合氷上支部	丹波市	たんば男女共同参画推進会議	丹波市
立正佼成会	大阪市	おさん茂兵衛DEたんば実行委員会	丹波市
NHK大阪児童劇団	大阪市	曹洞宗兵庫県第二宗務所	丹波市
大阪音楽教育の会	箕面市	部落解放同盟兵庫県連合会	神戸市
朝日新聞社北兵庫朝日会	丹波市		

## 来園団体（施設見学など）

団 体	地 域
崇広小学校	丹波市
東小学校	丹波市
小川小学校	丹波市
和田中学校	丹波市
伊丹西中学校	伊丹市
加古川わかば会	加古川市
但馬病院	養父市
こばと保育園	丹波市
西小学校	丹波市
春日子育て学習センター	丹波市

団 体	地 域
兵庫区老人クラブ連合会	神戸市
尼崎市スポーツ少年団猪名川野球	尼崎市
芦田ホーム・父母・O B 親睦会	尼崎市
兎塚区老人クラブ	多可町
二元会兵庫支部親睦会	神戸市
海峡フレンズ	淡路市

## グラウンド・テニスコート利用団体

団 体 名	団 体 名
丹波市ソフトテニス協会	丹有サッカー協会
サンデーズ	スポーツクラブ 21 崇広
柏原高校	丹波市グランドゴルフ協会
柏原テニスクラブ	木曜会
丹波市テニス協会	篠山産業高校
(有) ジャパンテニスプレーヤーズプロダクション	兵庫ドリームス
氷上中学校	丹波O B 大学グランドゴルフ部
E L T	丹波市野球部
丹波青少年交流サロン	丹波O B 大学同窓会
西脇工業高校	柏原軟式野球協会
柏原中学校	公立学校共済組合兵庫支部
ミックスベジタブル	柏原スターズ
丹波市体育協会	新井ユニオンズ
春日インパルス	柏原看護専門学校
柏原土木事務所 テニス部	丹波市老人クラブ連合会
丹波竜テニスの会	丹波ひかみ農業協同組合
山南中学校	中兵庫信用金庫 野球部
大新屋自治会	丹波の森フェスティバル実行委員会
(財) 兵庫県学校厚生会	下町沖田野球部

## 展示ギャラリー利用状況

月	展示会名(開催期間)
4	城谷正己 切り絵展(3~15) たんばぐみ(17~22) 第15回 兵庫丹波の森協会 写真コンクール展(24~5/8)
7	丹波年輪の里 バードカービング教室展(8~21)
8	丹波市(2~10) 丹波子ども美術クラブ(12~19)
9	石原康次郎 老後の趣味展パート3(1~14) 和服のリメイク展(20~29)
10	学ぶ高齢者のつどい(16~17) 陶芸体験教室作品展(18~25) 秋のフェスティバル(26~28) 不華篆会習作展(30~11/4)
11	小椎尾陸子 フランス刺繡作品展(6~17) 丹波文化活動交流会(29~12/2)
12	丹波年輪の里 絵画サークル作品展(5~20)
1	統計グラフコンクール優秀作品巡回展示(8~22) 丹波の森新春書き初め展(23~29) 写真とけしごむはんこ展(31~2/13)
2	省資源・省エネルギー啓発ポスターコンクール入賞者展(26~3/7)
3	山本 博靖展 “水彩画”と“詩”(8~21)

# (財) 兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区分	期日	開催地	出席者数	議決・承認事項
第 61 回	平成 19 年 6月 19 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 18 年度 (財) 兵庫丹波の森協会一般会計事業報告及び収支決算の件</li> <li>・平成 18 年度 (財) 兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支決算の件</li> <li>・平成 18 年度 (財) 兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業報告及び収支決算の件</li> <li>・平成 18 年度 (財) 兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計事業報告及び収支決算の件</li> <li>・平成 19 年度 (財) 兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件</li> <li>・平成 19 年度 (財) 兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支補正予算の件</li> <li>・役員の選任について</li> <li>・理事長・副理事長・常務理事の互選について</li> </ul>
第 62 回	平成 20 年 3月 28 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度 (財) 兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件</li> <li>・平成 20 年度 (財) 兵庫丹波の森協会一般会計事業計画及び収支予算の件</li> <li>・平成 20 年度 (財) 兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支予算の件</li> <li>・平成 20 年度 (財) 兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業計画及び収支予算の件</li> <li>・平成 20 年度 (財) 兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計事業計画及び収支予算の件</li> <li>・役員の選任について</li> <li>・常務理事の互選について</li> </ul>

# (財) 兵庫丹波の森協会役員名簿

平成20年3月31日現在

役員の種類	氏 名	所 属 団 体 等
顧 問	河 合 雅 雄	丹波の森公苑名誉公苑長（京都大学名誉教授）
理 事 長	辻 重五郎	丹波市長
副理事長	酒 井 隆 明	篠山市長
常務理事	飯 田 富美夫	(財) 兵庫丹波の森協会
"	堀 三 郎	丹波の森公苑次長
理 事	荒 木 幸 代	篠山市農業委員
	大 木 康 次	丹波青少年本部本部長
"	大 木 豊	丹波市観光協会会长
"	荻 野 美代子	丹波市連合婦人会会长
"	小 田 晋 作	(株) 丹波新聞社社長
"	柏 原 藤一郎	丹波県民局長
"	片 寄 俊 秀	大阪人間科学大学教授
"	杉 尾 吉 弘	篠山市商工会事務局長
"	谷 口 務	丹波文化団体協議会会长
"	中 瀬 獻	丹波の森公苑長（兵庫県立大学教授）
"	松 本 正 義	篠山市自治会会长会会长
"	和 田 利 一	丹波市自治会会长会副会長
監 事	金 野 幸 雄	篠山市副市長
"	吉 住 康 之	丹波市副市長

# 丹波の森公苑運営委員会の開催状況

## 運営委員会の開催状況

区分	開催日	開催地	出席者数	協議事項
第24回	平成19年9月13日	丹波市柏原町丹波の森公苑セミナー室	9名	・平成19年度事業の実施状況について ・平成20年度の事業計画等について
第25回	平成20年3月19日	丹波市柏原町丹波の森公苑セミナー室	9名	・専門部会の報告（人と自然部会、芸術文化部会） ・平成19年度事業報告について ・平成20年度事業計画等について

## 専門部会の開催状況

部会名	開催日	開催地	出席者数	協議事項
人と自然部会	平成20年3月13日	丹波市柏原町丹波の森公苑会議室	5名	・丹波の森公苑における「人と自然」関連事業の展開について ・平成19年度事業実施状況とその検証課題等について ・平成20年度事業計画について ・意見交換 ①地域の生活創造拠点としての丹波の森公苑の利用促進のために ②地域の若者の事業参画に向けて ③地域の団体・人材を活かした事業展開に向けて ④これからの丹波の森公苑の役割と期待について
芸術文化部会	平成20年2月27日	丹波市柏原町丹波の森公苑会議室	7名	・平成19年度丹波の森公苑文化振興部事業実施状況 ・平成20年度丹波の森公苑文化振興部実施計画（案）

# 丹波の森公苑運営委員会委員名簿

平成 20 年 3 月 31 日現在

区分	氏名	職名・所属団体等	備考
地域代表	赤井俊子	特定非営利活動法人丹波まちづくりプロジェクト代表	
	浅倉陽子	特定非営利活動法人IKGS緑化協会理事 おさん茂兵衛DEたんば実行委員会企画運営委員長	
	荻野美代子	丹波市連合婦人会長	
	柏原藤一郎	(財)兵庫丹波の森協会理事、丹波県民局長	
	小林廣子	篠山市いずみ会長	
	小森真一	ひょうごCSRクラブ丹波支部長	
	酒井隆明	(財)兵庫丹波の森協会副理事長、篠山市長	
	谷口務	(財)兵庫丹波の森協会理事、丹波文化団体協議会長	
	西尾昭	篠山音楽協会会長	
	方城昭三	神戸新聞丹波総局長	
	由良亨	丹波年輪の里館長	
学識経験	岡田眞美子	兵庫県立大学環境人間学部教授	
	加藤恵正	県民生活審議会委員、兵庫県立大学経済経営研究所長	
	河内厚郎	夙川学院短期大学教授、「関西文学」編集長	芸術文化部会長
	小山修三	国立民族学博物館名誉教授、吹田市立博物館長 福井県若狭三方町縄文博物館運営委員	
	永田萌	(株)妖精村代表取締役、イラストレーター	
	中村順子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター 神戸理事長	人と自然部会長
	端信行	生涯学習審議会委員 京都橘女子大学文化政策研究センター所長・文化政策学部教授	委員長
	服部保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授	

(氏名の記載は、50音順)

# 丹波の森公苑運営委員会・専門部会名簿

## 「人と自然」部会

平成 20 年 3 月 31 日現在

氏 名	所 属 団 体 等	備 考
中村 順子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長	部会長
池田 和代	市島ふれあいブリッジ	
市野 達也	立杭を考える会	
小林 和子	保育ボランティアきらら、みつばちグループ、篠山市少年補導委員	
小山 敏	元県民運動篠山市専門員	
高見 豊	日本野外生活推進協会	
谷 憲治	NPO法人 大名草生産部会長	
藤本 三千代	こころ豊かな人づくり 500 人委員OB	
藤原 利正	梶自然愛好会	

## 「芸術文化」部会

平成 20 年 3 月 31 日現在

氏 名	所 属 団 体 等	備 考
河内 厚郎	夙川学院短期大学教授 「関西文学」編集長	部会長
磯尾 隆司	彫刻家	
井上 和美	演劇塾「くろまめ」	
酒井 欣也	シユーベルティアーデたんば	
杉尾 吉弘	創作人の会「めんめ」	
西田 夫佐	丹波広報スタッフ・音楽講師	
前川 鈴代	丹波広報スタッフ・美たんばネット	

# 機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを開発するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

## ■ 丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

- 生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援
- 協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

## 1 研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

■丹波の森研究所専門研究員	■森づくり活動アドバイザー
環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。	親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。
■地域づくり活動サポーター	■緑のパトロール隊
地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。	道沿いや街並みの緑化・花づくりについて助言を行い、美しい地域づくりを応援します。
■生活情報活動アドバイザー	■青少年活動コーディネーター
消費生活、環境問題などについての情報の提供や相談に応じ、安心な暮らしを応援します。	青少年活動に関する相談や指導者の紹介など地域の実情に応じた活動を応援します。
■女性問題相談員	■くらしの安全・安心アドバイザー
夫婦関係や家族関係、暮らし方などについての相談や男女共同参画の情報も提供します。	「くらし」に関する消費者への助言や情報提供を行い、安全・安心な生活を応援します。

## 2 その他

- 会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ
- 展示ギャラリー、ライブラリー（図書・ビデオ・パソコンコーナー）、グループ活動コーナー、子ども室
- スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

# 沿革

---

## (財) 兵庫丹波の森協会の設立

### 1 設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

- 1 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2 自然とのふれあいに関する事業
- 3 新しい地域文化の創造及び育成に関する事業
- 4 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5 県立丹波の森公苑の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6 自然活用型野外C S R施設「ささやまの森公園」の運営等に関する事業の受託
- 7 その他目的達成のため必要な事業

### 2 沿 革

- ・昭和63年11月16日 丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
- ・平成 2年 2月 1日 兵庫県知事から「財団法人 丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
- ・平成 8年 4月 1日 県立丹波の森公苑の管理運営を受託
- ・平成13年10月 1日 兵庫県からささやまの森公園の運営を受託
- ・平成18年 4月 1日 財団法人 兵庫丹波の森協会に名称を変更  
篠山市からささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託

## 丹波の森公苑の設置

### 1 設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第1号として、また、県民が地域や世代を超えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外C S R施設の第1号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

### 2 沿 革

- ・平成8年4月 1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）により、氷上郡柏原町柏原5600番地に設置  
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託
- ・平成8年4月29日 県立丹波の森公苑開園
- ・平成9年7月 6日 多目的グランド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始

# 施設の概要

## 丹波の森公苑の概要

(1) 敷地面積 357, 163.99m<sup>2</sup>

(2) 建物面積 延6, 026.32m<sup>2</sup>

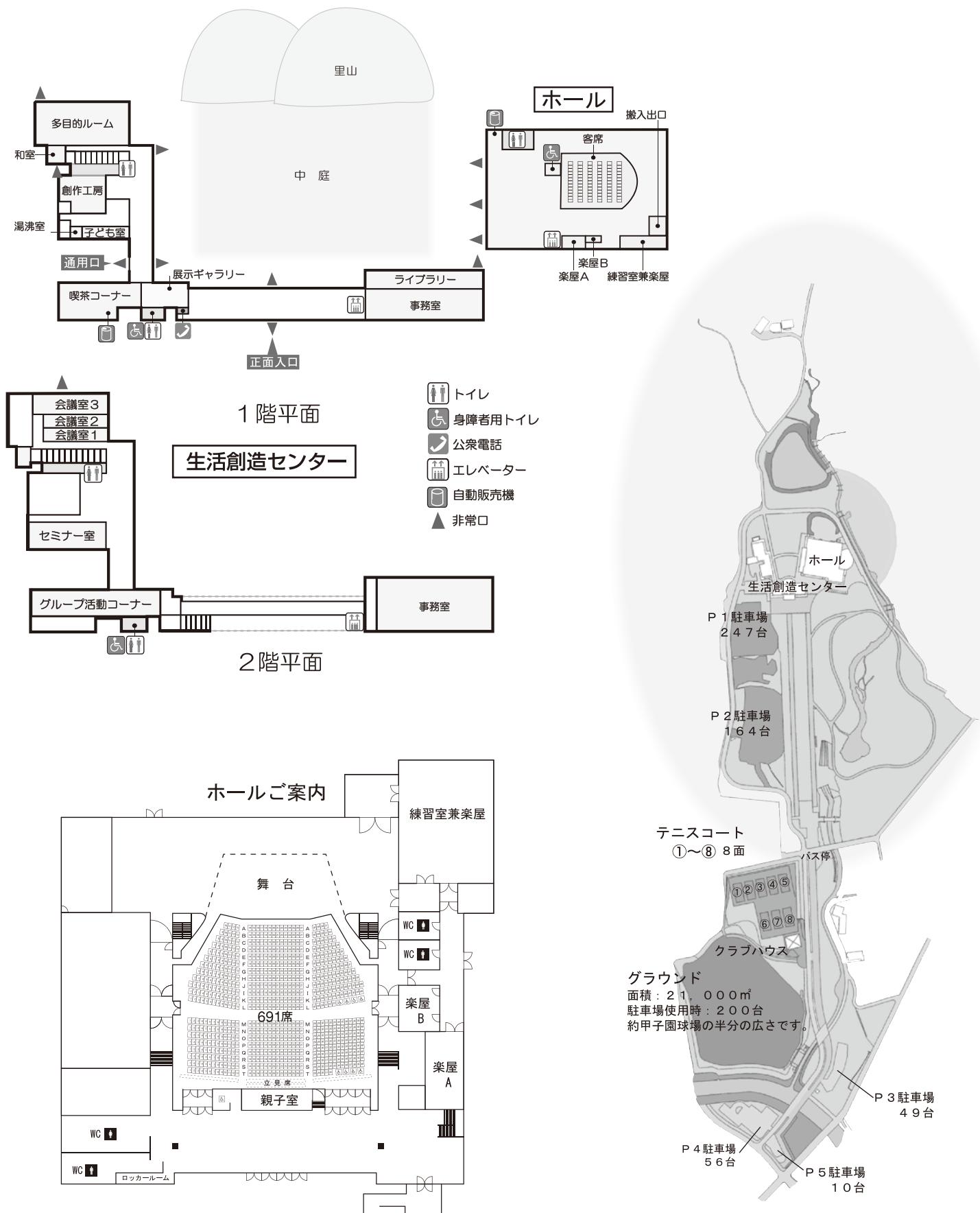
### 建物の内訳

名 称		建 物 面 積 (m <sup>2</sup> )	内 容
生活創造センター棟	管 理 情 報 棟	1, 069.33	ライブラリー、インフォメーション、グループ活動コーナー、喫茶・軽食コーナー、事務室等
	研 修 創 作 棟	1, 142.36	多目的ルーム(展示等)、創作工房、和室、セミナー室、会議室1、会議室2、会議室3等
	渡り廊下(1)	53.28	
	ブ 口 パ ン 庫	5.16	
ホ ー ル 棟	ホ ー ル	2, 969.62	ホール(固定席691席)、練習室兼楽屋、楽屋A、楽屋B等
	渡り廊下(2)	26.64	
小 計		5, 266.39	
その他の施設	ア ト リ エ	210.28	絵画棟、彫刻棟
	ク ラ ブ ハ ウ ス	252.00	スポーツ施設内
	倉 庫 棟	297.65	倉庫(4)、車庫兼倉庫(2)
小 計		759.93	
合 計		6, 026.32	

### 屋外施設

多 目 的 グ ラ ン ド	21, 000m <sup>2</sup>
テ ニ ス コ ー ト	人工芝コート8面
里 山 、 散 策 路	490, 000m <sup>2</sup> (借地を含む)
そ の 他 の 施 設	主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

# 施設案内図

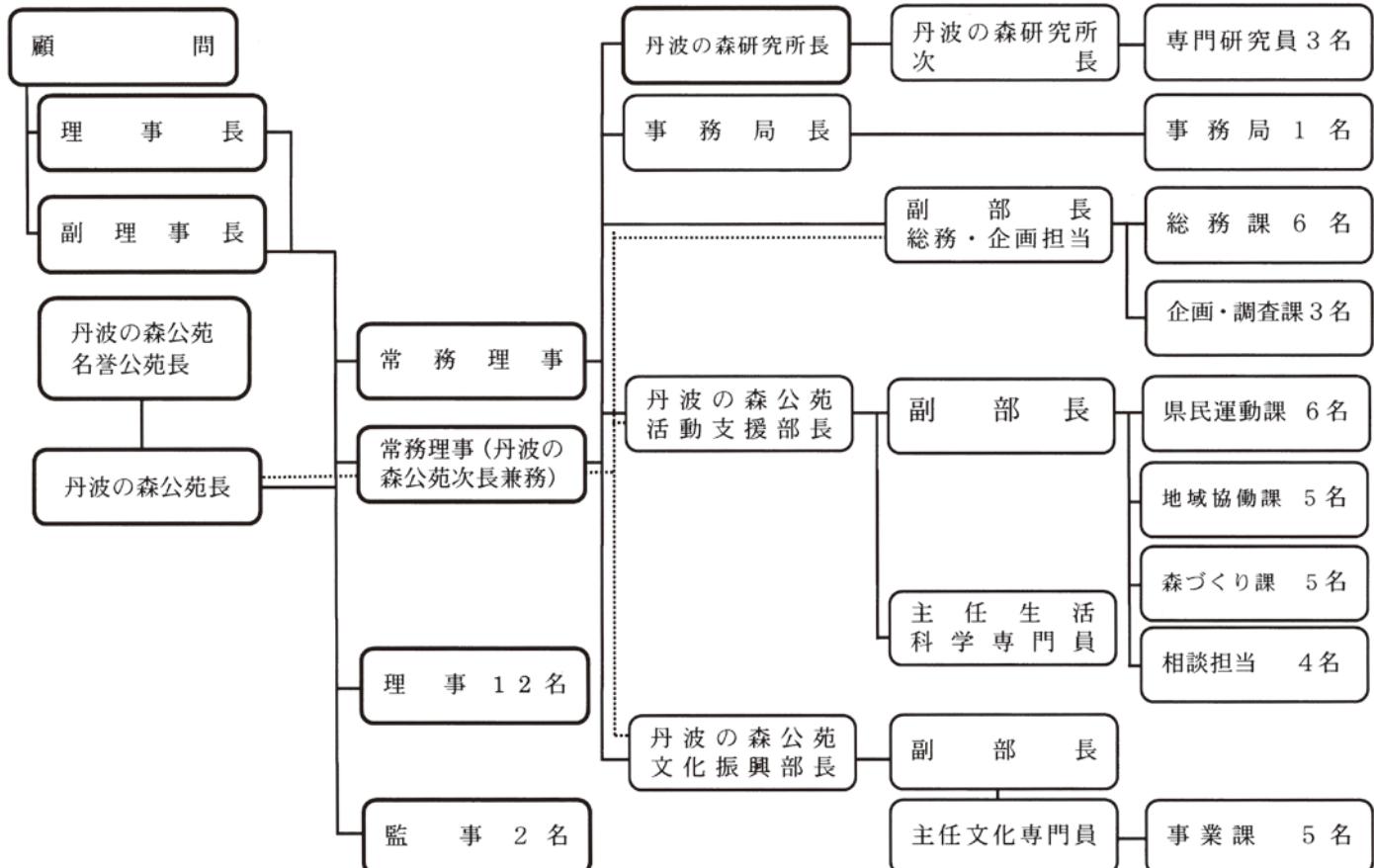


## 組織と職員

平成20年3月31日

### (1) 組織図

## (財) 兵庫丹波の森協会組織図 (太枠は役員)



## (2) 職員數

(单位：人)

(乙) 員員数					
区分	事務職	小計	非常勤嘱託員等	小計	合計
協会事務局	2	2	丹波の森研究所長 専門研究員	1 3	4
			名譽公苑長 公苑長 調査研究アドバイザー 生活情報活動アドバイザー 地域づくり活動サポートー 森づくり活動アドバイザー くらしの安全・安心アドバイザー 芸術村スタッフ 展示・企画スタッフ 宿日直代行員 日々雇用職員 各種団体等雇用職員	1 1 1 3 1 2 1 1 1 3 1 7	6
丹波の森公苑	21 (兼 14) [ 1 ]	21 (兼 14) [ 1 ]		23	44 (兼 14) [ 1 ]

- 事務職欄の（兼）書きは丹波県民局との兼務職員の内数、事務職欄の〔 〕書きは市町派遣職員で内数  
丹波の森公苑名誉公苑長、丹波の森公苑長、同次長及び丹波の森研究所長は役員が兼務
  - 丹波の森研究所次長は事務局長が兼務

### (3) 役員・職員配置

#### [（財）兵庫丹波の森協会]

顧問 河合雅雄  
 理事長 辻重五郎  
 副理事長 酒井隆明  
 常務理事 飯田富美夫  
 常務理事 堀三郎  
 理事 事務担当 荒木幸代  
 理事 事務担当 松本正義  
 理事 事務担当 大木康次  
 理事 事務担当 小田晋作  
 理事 事務担当 片寄俊秀  
 理事 事務担当 大木豊  
 理事 事務担当 杉尾吉弘  
 理事 事務担当 柏原藤一郎  
 理事 事務担当 谷口務  
 理事 事務担当 中瀬勲  
 理事 事務担当 和田利一  
 理事 事務担当 荻野美代子  
 理事 事務担当 金野幸雄  
 理事監督 吉住康之

宿日直代行員  
 宿日直代行員  
 宿日直代行員

足立吉裕  
 山内一行  
 山根憲明

#### 企画・調査課

課長  
 事務吏員  
 調査研究活動アドバイザー

藤原義信  
 畑岡俊成  
 中西佳之

#### 県民運動課

課長  
 青少年指導専門員  
 主任  
 地域づくり活動サポーター

山野廣史  
 八尾滋樹  
 小嶋祐二  
 方山桂子

#### 地域協働課

課長  
 主査

北条正昭  
 由良久美子

#### 相談担当

生活情報活動アドバイザー  
 生活情報活動アドバイザー  
 生活情報活動アドバイザー  
 くらしの安全・安心アドバイザー

西山和  
 田中範子  
 岸本美鈴  
 野村貞夫

#### 森づくり課

課長  
 主査  
 森づくり活動アドバイザー  
 森づくり活動アドバイザー

(山田副部長兼務)  
 東正一  
 荻野佐敏  
 足立隆昭

#### 事業課

課長  
 文化専門員  
 文化専門員  
 文化専門員  
 展示・企画スタッフ  
 芸術村スタッフ

(芦田副部長兼務)  
 足立均  
 畑中啓太  
 小倉畠祐貴  
 青木孝郎  
 畑明日香

#### [丹波の森公苑駐在]

青少年活動コーディネーター  
 青少年愛護活動推進員  
 地域協働推進事務嘱託員  
 地域協働推進事務嘱託員  
 地域協働推進事務嘱託員  
 緑のパトロール  
 緑のパトロール

高見由香里  
 足立吉規  
 斎藤義美  
 上本護  
 近藤康夫  
 稲垣明男  
 近藤行雄

#### 事務局

事務局長  
 事務員

村上 豊  
 細見由美子

#### 丹波の森研究所

丹波の森研究所長  
 丹波の森研究所次長  
 主任専門研究員  
 専門研究員  
 専門研究員

中瀬 勲  
 村上 豊  
 重本幸彦  
 横山宜致  
 上岡典子

#### 名誉公苑長

公苑長  
 次長  
 活動支援部長  
 文化振興部長  
 副部長（総務企画担当）  
 活動支援部副部長兼森づくり課長  
 文化振興部副部長兼事業課長  
 主任生活科学専門員  
 主任文化専門員

河合雅雄  
 中瀬 勲  
 堀三郎  
 瓢芳夫  
 是川哲秀  
 足立保  
 山田貴一  
 芦田達明  
 坂本雅春  
 山下誠

#### 総務課

課長  
 主査  
 主査  
 日々雇用職員

(足立副部長兼務)  
 宇野裕美  
 岡田智恵  
 戸田晶子

# ささやまの森公園 事業報告

一年間の活動の内容をより分かりやすくみなさんにお伝えするために、2007年度ささやまの森公園で行った事業10項目をあげ、「ねらい」や「成果」などについてお知らせいたします。

## シューベルティアーデたんば 2007 「里山コンサートV」

### ◇ねらい

自然環境豊かな里山の中で、来園者に音楽を気軽に楽しむ機会を提供し、自然と文化に親しむ。

### ◇実施内容

アコースティックギター奏者石田裕之氏とモンゴル民俗音楽奏者ダイ・チェン氏を招いての演奏を聴く。

### ◇成果（自己評価等）

参加者 101人

### ◇翌年度の予定

平成20年9月28日



活動拠点施設「中庭」にてコンサート  
(2007. 10. 28)

## 里山まつり（春・秋）

### ◇ねらい

春の桜満開の頃と秋の黒豆収穫の頃に里山まつりを実施し、来園者に里山と親しんでもらい、ふれあい、交流を持つ。

### ◇実施内容

ボランティアスタッフや地元住民による体験コーナー、バザー等手づくりイベントを実施した。

### ◇成果（自己評価等）

参加者 春2,250人 秋512人

### ◇翌年度の予定

春4月、秋10月に開催する。



多くの来園者で賑わう秋の里山まつり  
(2007. 4. 15)

## ゴールデンウィーク特別企画（5月3・4・5日）

### ◇ねらい

連休の来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

### ◇実施内容

- ・ヒノキ・イチョウ・クリの木で木登り体験をする
- ・どんぐり・まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。

### ◇成果（自己評価等）

参加者 275人（3～5日）

### ◇翌年度の予定

平成20年5月4～6日



親子で楽しいひと時を過ごす

(2007. 5. 4)

## お盆休み特別企画（8月12・14・15日）

### ◇ねらい

お盆休みの来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

### ◇実施内容

- ・箆竹を使い竹笛を作る。
- ・どんぐり、まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。
- ・ヒイラギとヒイラギモクセイの葉で葉脈しおりを作る。

### ◇成果（自己評価等）

参加者 214人（12・14・15日）

### ◇翌年度の予定

平成20年8月13・14・15日



夏休みの楽しいひと時を過ごす

(2007. 8. 14)

## 里山体験プログラム

### ◇ねらい

里山や村に残る資料や技術などを利用して、その価値や文化を広く人々に伝承していく。

### ◇実施内容

こんにゃく、黒豆豆腐、黒豆味噌、草木染め、そば道場、木工体験、しめ縄作り、その他

### ◇成果（自己評価等）

26回実施 参加者 482人

### ◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



初めてのプログラム、帰化生物ふれあい

クッキングで調理する参加者

(2007. 7. 1)

## レクリエーションプログラム

### ◇ねらい

尾根や谷、渓流にダム湖、高低差のある散策路などで五感を使って自然環境の豊かさを感じる。

### ◇実施内容

深山登山、渓流登り（沢歩き）、グラウンドゴルフ、夜の自然体験、その他

### ◇成果（自己評価等）

10回実施 257人参加

### ◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



ダッヂオーブンを使って野外料理をする参加者

(2007. 12. 23)

## 自然学習プログラム

### ◇ねらい

参加者に身近な里山の中で体験を通して楽しく学習をしながら、自然環境の関心を高める。

### ◇実施内容

植物の観察、ハイキング、水生生物の観察、昆虫標本作り、モリアオガエルやホタルの観察、キノコ観察、バードウォッチング、その他

### ◇成果（自己評価等）

16回実施 参加者 228人

### ◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



水辺に生息する生き物を観察する参加者

(2007. 8. 11)

## 里山復元プログラム

### ◇ねらい

放置されて荒れていく里山の森を再び活用するためには復元・保全活動する。

### ◇実施内容

炭焼き体験（木炭・竹炭）、雑木林の整備、丸太のベンチ作り、シイタケづくり①～③、飾り棚をつくろう、間伐材を使った動物作り、その他

### ◇成果（自己評価等）

19回実施、参加者 203人

### ◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



炭焼き窯で植木鉢を作る参加者

上：作陶 下：窯出し

(2007)

## マツタケ施業

### ◇ねらい

かつてマツタケの産地として繁栄したこの地域で、マツタケ山を再生して、地域の活性化を図る。

### ◇実施内容

- ・ 月に1~2回ボランティアスタッフ有志が公園内のある場所で実際にアカマツ林の整備などを進めている。

### ◇成果（自己評価等）

平成19年4月より合計13回実施した。

### ◇翌年度の予定

平成20年度も引き続き進める。



講師を招き植菌作業をする活動スタッフ

## 団体利用活動

### ◇ねらい

学校や公共・民間、その他の団体の活動や交流の場として公園を提供し、積極的に活用できるようにする。

### ◇実施内容

ネイチャーゲーム、園内散策、葉脈しおり作り、深山登山、こんにゃく作り、草木染め、水辺の遊び、山菜採り、木工クラフト、自然学習、間伐体験、巣箱作り、その他

### ◇成果（自己評価等）

団体数67、参加者数2,085人

### ◇翌年度の予定

今後も利用希望の団体があれば、積極的に受けつける。



木工クラフト

## 団体学校利用活動

### ◇ねらい

学校の里山授業の一環として学校や公園で里山活動し、いろいろな里山体験を年間通して活動する。

### ◇実施内容

こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、木工クラフト、自然学習、間伐体験、森の動物作り、藁ぞうり作り、しめ縄作り、その他

### ◇成果（自己評価等）

回数 15回、生徒数 16人

### ◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する。



しめ縄作りをする生徒と講師。

# プログラム一覧

## ア) 基本プログラム

### ① 里山体験班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
草木染め教室	4月22日	そば殻でバンダナを染める	6
やきもの体験シリーズ レンガ窯でマイカップを作ろう①	5月26日	公園内の土でカップを作陶	14
里山伝承～端午の節句～ ちまき作り	6月10日	旧暦端午の節句、ササやカヤを使ってちまき作り	15
やきものの体験シリーズ レンガ窯でマイカップを作ろう②	6月30日	絵付けと本焼き	15
帰化生物ふれあいクッキング	7月1日	帰化生物の生態を学習し、料理する	17
草木染め教室	7月8日	公園で育てた藍でTシャツを染める	15
布ぞうり作り	7月15日	古布を使い、ぞうりを作る	20
やきものの体験シリーズ レンガ窯でマイカップを作ろう①	8月18日	公園の土を使って作陶	11
里山体験シリーズ そば道場入門①	8月19日	種まき、そば打ち体験をする	26
やきものの体験シリーズ レンガ窯でマイカップを作ろう②	9月9日	絵付けと本焼き	10
もうすぐ中秋も名月 お月見団子とヘチマの化粧水作り	9月24日	中秋の名月にお月見団子とヘチマ水を使って化粧水を作る	23
森の時計作り	9月30日	間伐材を使い、自然の素材で時計を作る	16
楽しい手織り タペストリーを作ろう	10月13日	炭や自然の素材を使って壁掛けを作る	7
里山体験シリーズ そば道場入門②－1	11月4日	そば刈りと稻木掛け	26
草木染め教室 型染め①	11月18日	型紙作りとのりつけ作業	15
草木染め教室 型染め②	11月25日	ビワの葉で手ぬぐいを染める	13
クリスマスリース作り	12月1日	自然素材でクリスマスリース作り	11
里山体験シリーズ そば道場入門②－2	12月2日	そばの脱穀	12
里山体験シリーズ そば道場入門③	12月16日	収穫したそば粉でそば打ち体験	24
しめ縄作り	12月22日	縄を打ち、絹って迎春用のしめ縄を作る	29
布ぞうり作り	1月21日	古布を使い、ぞうりを作る	25
黒豆味噌作り	2月10日	丹波特産の黒大豆で味噌を作る	30
こんにゃく作り	2月24日	コンニャク芋でこんにゃくを作る	18
黒豆豆腐作り	3月1日	丹波特産の黒大豆で豆腐を作る	23
ささやまの森芋煮会	3月2日	地元の食材で芋煮を作り食べる	47
木工クラフト 森の動物作り	3月30日	木の実や木の枝で動物を作る	14
計	26回		482

## ② レクリエーション班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
バードウォッチング	4月28日	オオルリなどの野鳥観察をする	22
新緑の深山に登ろう	4月28日	公園から三府県境を経て深山まで登山をする	36
森のリラクゼーション	6月 3日	森の中で癒し体験	14
バードウォッチング	6月17日	サンコウチョウをウォッチング	24
ダッヂde料理しよう	6月24日	ダッヂオープンで野外料理を作る	26
ささやまの森探検隊	8月26日	公園内を流れる沢の中を源流目指して歩く	27
グラウンドゴルフ大会	11月15日	公園杯争奪でグラウンドゴルフをする	18
黄葉の深山に登ろう	11月17日	公園から三府県境を経て深山まで登山をする	26
ダッヂde料理しよう	12月23日	ダッヂオープンで野外料理を作る	25
冬の深山に登ろう	1月19日	公園から三府県境を経て深山まで登山をする	39
計	10回		257

## ③ 自然学習班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
春の自然を楽しもう	4月29日	ツツジの咲く散策路に自然観察をする	15
きのこウォッチング	6月 2日	森を歩いてキノコ観察	5
モリアオガエルとホタルの観察	6月 9日	モリアオガエルとホタルを観察する	32
モリアオガエルの観察会	6月17日	モリアオガエル・卵魂などの観察	23
夏の自然を楽しもう	7月 7日	野生のアシサイなど夏の自然観察をする	11
昆虫標本作り	7月22日	昆虫を採集、観察して標本を作る	30
植物標本作り	7月29日	草花を採集、観察して標本を作る	17
水の中の生き物を探そう	8月11日	溪流に棲む生きものを観察する	16
秋の夜虫の声を聞こう	9月 1日	夜の園内を散策し虫の声を聞く	12
秋の星座観察	9月15日	秋の夜空に輝く星座の観察をする	8
秋のきのこウォッチング	10月21日	森を歩いてキノコ観察	9
秋の自然を楽しもう	11月10日	秋の草木や木の実などを観察する	6
バードウォッチング	12月 2日	公園周辺で野鳥観察をする	9
冬の自然を楽しもう	1月14日	冬の生きものの冬ごもりを観察する	22
ミクロの世界をのぞいてみよう	2月 3日	目で見えないものを顕微鏡で見る	4
バードウォッチング	3月 1日	公園周辺で野鳥観察をする	9
計	16回		228

## ④ 里山復元班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内容	参加者数
炭焼き体験	4月21日	窯の炭出し、炭材（竹）入れと火入れ	15
湿原を復活させよう	5月19日	隠し田の土起こしと周辺の間伐をする	5
小さな森作り	5月20日	植物の苗を鉢に植え森を作る	8
癒しの灯りを作ろう	6月16日	間伐材で電気スタンドを作る	13
里山体験シリーズ 第1弾 炭焼き窯で植木鉢を作ろう①	7月14日	土をこねて作陶する	12
里山体験シリーズ 第1弾 炭焼き窯で植木鉢を作ろう②	7月21日	窯入れ作業	8
炭焼き体験	7月21日	窯の炭出し、炭材（木）入れと火入れ	9
丸太のベンチ作り	8月25日	間伐材を使ってベンチを作る	20

里山体験シリーズ 第2弾 炭焼き窯で植木鉢を作ろう①	8月26日	土をこねて作陶する	7
炭焼き体験	9月8日	窯の炭出し、炭材（竹）入れと火入れ	7
里山体験シリーズ 第1弾 炭焼き窯で植木鉢を作ろう③	9月8日	窯出し作業	12
里山体験シリーズ 第2弾 炭焼き窯で植木鉢を作ろう②	9月8日	窯入れ作業	7
里山体験シリーズ 第2弾 炭焼き窯で植木鉢を作ろう③	9月29日	窯出し作業	7
炭焼き体験	10月13日	窯の炭出し、炭材（木）入れと火入れ	7
里山活用シリーズ シイタケ作り①	11月11日	シイタケ用のコナラを伐採する	15
アカマツ林を育てよう	11月25日	アカマツ林の間伐と腐葉土掻き作業	5
里山活用シリーズ シイタケ作り②	12月9日	コナラを原木用に玉切りにする	16
炭焼き体験	2月17日	窯の炭出し、炭材（竹）入れと火入れ	10
里山活用シリーズ シイタケ作り③	3月9日	原木にシイタケの菌を植菌する	20
計	19回		203

## イ) 特別プログラム

プログラム名	実施日	内容	参加者数
春の里山まつり& 開園5周年記念式典	4月15日	体験コーナー、即売コーナー、バザー他 来賓の招き式典をする	2250
GW特別企画 木登り体験	5月3日	公園のイチョウなどの木に登る	36
GW特別企画 炭アート	5月3日	炭を使って部屋に飾るインテリアを作る	52
GW特別企画 木工クラフト	5月4日	自然素材で森の動物を作る	116
GW特別企画 木工クラフト	5月5日	自然素材で森の動物を作る	71
お盆休み特別企画 木工クラフト	8月12日	自然素材で森の動物を作る	89
お盆休み特別企画 紙すき体験	8月14日	牛乳パックではがきを作る	18
お盆休み特別企画 葉脈しおり作り＆竹炭アート	8月14日	竹炭と葉脈しおりを使って風鈴を作る	37
お盆休み特別企画 顕微鏡でミクロの世界をみよう	8月15日	目で見えないものを顕微鏡で見る	70
秋の里山まつり	10月8日	体験コーナー、かかしコンクール他	512
里山コンサート	10月28日	モンゴル民俗音楽ほか	101
河合雅雄先生講演会	3月17日	河合雅雄先生「ヒトの進化を探る」	68
計	12回		3420

## ウ) 団体プログラム

### プログラム内容別利用団体・参加者数

内容	団体数	参加者数	内容	団体数	参加者数
園内散策	27	989	会議	1	12
自然観察	5	149	畑作業	1	75
山菜教室	2	37	間伐体験	7	117

葉脈しおり作り	2	8 2	ハイキング	3	8 1
水辺の遊び	2	6 4	間伐材で動物作り	1	1 6
昆虫標本作り	1	1 8	樹木札掛け	2	6 9
工作機械講習会	1	1 1	ダッヂオーブン料理	1	1 1
昆虫観察	1	1 7	木工クラフト	3	8 8
ボランティア活動	1	1 5	オリエンテーリング	4	2 0 1
黒豆豆腐作り	1	2 3	草木染め	1	1 0
			計	6 7回	2 0 8 5

## 工) 会議その他

月日	事業名	事業内容	参加者数
4月 1日	開園5周年記念実行委員会	式典スケジュール・担当決定	7
4月 4日	植物調査	園内の植物調査	2
4月 7日	開園5周年記念実行委員会	司会者と打合せ	1
4月18日	マツタケ施業	実地作業	3
4月22日	里山復元班会議	7月～9月の新プログラム案会議	10
4月28日	里山体験班・レクリエーション班会議	7月～9月の新プログラム案会議	9
4月29日	自然学習班会議	7月～9月の新プログラム案会議	6
4月中	森守DAY	製材機で板作り（2回）	4
4月中	植物調査隊	園内の植物調査（3回）	9
5月 2日	活動スタッフリーダー会	7月～9月の新プログラム検討会議	4
5月10日	マツタケ施業	実地作業	5
5月13日	活動スタッフ総会	18年度活動報告・19年度活動計画・ハイキング	33
5月23日	木の実採集ツアー	木工クラフトで使用する木の実を採集する	2
5月中	植物調査隊	園内の植物調査（5回）	17
6月12日	活動スタッフお楽しみプログラム	木工クラフト教室	7
6月14日	運営協議会	18年度事業・会計報告・19年度事業計画	16
6月23日	ビオトープ作り	植樹作業	1
6月24日	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯制作について	10
6月中	マツタケ施業	実地作業（2回）	6
6月中	植物調査隊	園内の植物調査（4回）	15
7月 7日	自然学習班会議	10月～12月の新プログラム案会議	4
7月16日	里山復元班会議	10月～12月の新プログラム案会議	4
7月22日	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯制作について	9
7月29日	里山体験班・レクリエーション班会議	10月～12月の新プログラム案会議	6
7月中	森守DAY	ビオトープ棧橋作り・湿原の復活作業（2回）	4
7月中	活動スタッフお楽しみプログラム	草木染め「型染め」（2回）	13
7月中	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯制作について	17
7月中	植物調査	園内の植物調査（3回）	7
8月 4日	活動スタッフリーダー会	10月～12月の新プログラム検討会議	5
8月10日	森守DAY	ヒノキの皮むき	3
8月15日	ツリークライミング	打合せ・下見	1
8月中	植物調査隊	園内の植物調査（2回）	7
8月中	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り（2回）	17
8月中	火鉢作り	火鉢を作る（2回）	4
9月 2日	活動スタッフ研修旅行	コウノトリの郷公園・但馬高原植物園に研修	28
9月13日	マツタケ施業	実地作業	3

9月14日	万兎の森	造成作業	3
9月中	植物調査隊	園内の植物調査（2回）	7
9月中	森守DAY	テーブル作り・湿原の復活作業（3回）	5
9月中	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り（2回）	17
9月中	火鉢作り	火鉢を作る（2回）	4
10月21日	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り	9
10月23日	木の実採集ツアー	木工クラフトで使用する木の実を採集する	7
10月28日	里山復元班会議	1月～3月の新プログラム案会議	5
10月28日	里山体験班・レクリエーション班会議	1月～3月の新プログラム案会議	12
10月28日	自然学習班会議	1月～3月の新プログラム案会議	2
10月中	マツタケ施業	実地作業（2回）	6
10月中	火鉢作り	火鉢を作る（3回）	6
11月9日	活動スタッフリーダー会	1月～3月の新プログラム検討会議	3
11月中	SRT講習会	シングルロープツリーイング講習会（2回）	14
11月中	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り（3回）	21
11月中	炭焼き小屋屋根延長作業	炭焼き小屋の建築作業（3回）	10
12月16日	チェーンソー講習会	チェーンソーの使い方	2
12月21日	森守DAY	歳徳神・門松作り	4
12月中	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り（4回）	28
1月12日	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り	8
1月14日	自然学習班会議	4月～6月の新プログラム案会議	5
1月20日	活動スタッフ新年会	活動スタッフ交流	13
1月20日	里山復元班会議	4月～6月の新プログラム案会議	6
1月20日	里山体験班・レクリエーション班会議	4月～6月の新プログラム案会議	9
2月2日	活動スタッフリーダー会	4月～6月の新プログラム検討会議	5
2月8日	森守DAY	果樹園の植樹	3
2月11日	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り	8
2月17日	ツリーイング樹木剪定	オニグルミの剪定	4
2月中	マツタケ施業	実地作業（2回）	4
2月中	下駄箱製作	スリッパ入れ作り（2回）	5
3月6日	マツタケ施業	実地作業	3
3月8日	活動スタッフお楽しみプログラム	木工クラフト教室	15
3月12日	幹事会	19年度事業報告・20年度事業計画・収支予算案	5
3月19日	運営協議会	19年度事業報告・20年度事業計画・収支予算案	18
3月中	森守DAY	万兎の森植樹（2回）	6
3月中	レンガ窯作りプロジェクト	レンガ窯作り（4回）	18
3月中	木工旋盤講習会	木工旋盤の使い方講習（2回）	8
計			607

# 活動・施設利用一覧

平成19年4月1日～平成20年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
平成19年4月		
1	星子ども会来園	ささやまの森公園
	村雲スポーツクラブ21来園	ささやまの森公園
15	プログラム「春の里山まつり」	ささやまの森公園
	北恒屋子ども会来園	ささやまの森公園
17	篠山市立福住小学校来園	ささやまの森公園
19	篠山産業高等学校 丹南校 ~草木染め教室~	篠山産業高等学校 丹南校
21	プログラム「炭焼き体験 ~竹炭作り~」	ささやまの森公園
22	プログラム「草木染め教室 ~そば殻でパンダナを染めよう~」	ささやまの森公園
	日本野外推進協会来園	ささやまの森公園
25	篠山産業高等学校 丹南校来園 ~山菜教室~	ささやまの森公園
27	京丹波町社会福祉協議会デイサービスセンターほほえみ来園	ささやまの森公園
28	プログラム「バードウォッキング ~幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー~」	ささやまの森公園
29	プログラム「春の自然を楽しもう！」	ささやまの森公園
5月		
3	GW特別企画「木登り体験」	ささやまの森公園
3	GW特別企画「炭アート」	ささやまの森公園
4	GW特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
5	GW特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
10	後川老人会来園	ささやまの森公園
12	プログラム「新緑の『深山』に登ろう！」	ささやまの森公園
16	篠山市小学校教員 理科部会来園	ささやまの森公園
19	プログラム「湿原を復活させよう」	ささやまの森公園
	青垣自然探訪クラブ来園	ささやまの森公園
20	プログラム「小さな森作り」	ささやまの森公園
	篠山市野外推進協会来園	ささやまの森公園
22	篠山市維持管理協議会来園	ささやまの森公園
26	プログラム「レンガ窯でマイカップを作ろう① ~作陶~」	ささやまの森公園
	藍俳句会来園	ささやまの森公園
27	大阪スローフード協会来園	ささやまの森公園
31	篠山産業高等学校 丹南校来園 ~間伐体験~	ささやまの森公園
	城東公民館来園	ささやまの森公園
6月		
2	プログラム「きのこウォッキング」	ささやまの森公園
3	プログラム「森のリラクゼーション ~森の中で癒し体験~」	ささやまの森公園
7	武庫ネイチャークラブ来園	ささやまの森公園
	篠山産業高等学校 丹南校 ~こんにゃく作り~	篠山産業高等学校 丹南校
9	プログラム「モリアオガエルとホタルの観察会」	ささやまの森公園
	古坂3丁目子供会来園	ささやまの森公園
10	プログラム「里山伝承シリーズ ~端午の節句 ちまき作り~」	ささやまの森公園

15	賀茂森林組合来園	ささやまの森公園
16	プログラム「癒しの灯りを作ろう」	ささやまの森公園
	山村を歩く会来園	ささやまの森公園
17	プログラム「バードウォッチング～月・日・星と鳴く不思議な鳥と出会うツア～」	ささやまの森公園
	プログラム「モリアオガエルの観察会」	ささやまの森公園
	ガールスカウト伊丹市連絡協議会来園	ささやまの森公園
	スポーツ21城北来園	ささやまの森公園
21	篠山産業高等学校 丹南校～手織り体験 コースター作り～	篠山産業高等学校 丹南校
23	養父市伊佐地区来園	ささやまの森公園
24	プログラム「ダッヂ de 料理しよー！」	ささやまの森公園
	樹恩ネットワーク兵庫来園	ささやまの森公園
28	富山保育園来園	ささやまの森公園
	篠山産業高等学校 丹南校来園～森の動物作り～	ささやまの森公園
30	プログラム「レンガ窯でマイカップを作ろう②～本焼き&乾杯～」	ささやまの森公園
7月		
1	プログラム「帰化生物ふれあいクッキング～帰化生物ってナニ？まずは食べて考えよう！～」	ささやまの森公園
7	プログラム「夏の自然を楽しもう！」	ささやまの森公園
	JUON来園	ささやまの森公園
8	プログラム「草木染め教室～藍 Love Summer 夏色に染めよう～」	ささやまの森公園
	JUON来園	ささやまの森公園
14	プログラム「炭焼き窯で植木鉢作り第1弾①」	ささやまの森公園
15	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
21	プログラム「炭焼き窯で植木鉢作り第1弾②」	ささやまの森公園
	プログラム「炭焼き体験～竹炭作り～」	ささやまの森公園
22	プログラム「夏休み宿題お助け企画～昆虫標本作り～」	ささやまの森公園
24	富山保育園来園	ささやまの森公園
28	丹波県民局環境学習来園	ささやまの森公園
29	プログラム「夏休み宿題お助け企画～植物標本作り～」	ささやまの森公園
31	篠山市小学校特別支援学級部会来園	ささやまの森公園
8月		
1	篠山市立福住小学校6年生トライしようDAY来園	ささやまの森公園
2	篠山市立福住小学校6年生トライしようDAY来園	ささやまの森公園
4	JUON来園	ささやまの森公園
5	JUON来園	ささやまの森公園
11	プログラム「水辺の生きものを探そう」	ささやまの森公園
12	お盆休み特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
14	お盆休み特別企画「紙すき体験～牛乳パックではがきを作ろう～」	ささやまの森公園
15	お盆休み特別企画「葉脈しおり作り&竹炭アート」	ささやまの森公園
	お盆休み特別企画「顕微鏡でミクロの世界をみよう」	ささやまの森公園
18	プログラム「レンガ窯でマイカップを作ろう①」	ささやまの森公園
19	プログラム「そば道場入門①～種まき&そば試食～」	ささやまの森公園
24	篠山産業高等学校 丹南校職員研修来園	ささやまの森公園
25	プログラム「丸太のベンチ作り」	ささやまの森公園
26	プログラム「ささやまの森探検隊～ささやまの森公園の知られざる秘境地帯をゆく～」	ささやまの森公園

	プログラム「炭焼き窯で植木鉢を作ろう第2弾①」 清和台コーラス草笛の会来園 ラボ国際交流 福田パーティー来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園 ささやまの森公園
9月		
28		
1	プログラム「秋の夜 虫の声を聞こう！」 丹波県民局環境学習来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
6	篠山産業高等学校 丹南校 ～つる細工～	篠山産業高等学校 丹南校
8	プログラム「炭焼き窯で植木鉢を作ろう第1弾③」 プログラム「炭焼き窯で植木鉢を作ろう第2弾②」 プログラム「炭焼き体験 ～竹炭作り～」	ささやまの森公園 ささやまの森公園 ささやまの森公園
9	プログラム「レンガ窯でマイカップを作ろう②」 エコキッズ「草木染め」	ささやまの森公園 丹波の森公苑
13	花くらぶ来園	ささやまの森公園
15	プログラム「秋の星座観察」	ささやまの森公園
20	篠山産業高等学校 丹南校 ～栗蒸しまんじゅう作り～	篠山産業高等学校 丹南校
24	プログラム「もうすぐ仲秋の名月 ～お月見団子とヘチマの化粧水作り～」	ささやまの森公園
27	篠山産業高等学校 丹南校来園 ～木工クラフト～	ささやまの森公園
29	プログラム「炭焼き窯で植木鉢を作ろう第2弾③」 兵庫県学校厚生会丹波支部来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
30	プログラム「森の時計作り ～森の時間を刻もう～」	ささやまの森公園
10月		
4	篠山市立篠山東中学校福住校区来園 篠山産業高等学校 丹南校 ～ススキのアート～	ささやまの森公園 篠山産業高等学校 丹南校
7	NPO友・遊・結う来園	ささやまの森公園
8	プログラム「秋の里山まつり」	ささやまの森公園
11	実生句会来園	ささやまの森公園
13	プログラム「楽しい手織り ～タペストリーを作ろう～」 プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園 ささやまの森公園
14	大阪スローフード協会来園	ささやまの森公園
17	篠山市立大芋小学校教員研修来園	ささやまの森公園
20	日本災害救援ボランティアネットワーク来園	ささやまの森公園
21	プログラム「秋のきのこウォッチング」 スポーツクラブ21宇仁来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
	山崎植物同好会来園	ささやまの森公園
	豊楽さくら 松風子ども会来園	ささやまの森公園
24	篠山市立今田中学校1年生来園	ささやまの森公園
25	篠山産業高等学校 丹南校 ～わらぞうり作り～	篠山産業高等学校 丹南校
27	篠山市立城北小学校2年生親子活動来園	ささやまの森公園
28	プログラム「里山コンサートV ～渓谷に響く癒しのしらべ～」 日本野外生活推進協会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
31	篠山市立味間幼稚園来園	ささやまの森公園
11月		
3	多紀文化祭イベント	篠山市ハートピアセンター
4	プログラム「そば道場入門② ～そば刈り～」 ふるさとの森公園「人博フェスティバル」イベント	ささやまの森公園 人と自然の博物館

8	篠山市国際理解センター来園 篠山産業高等学校 丹南校 ~木工クラフト~	ささやまの森公園 篠山産業高等学校 丹南校
10	プログラム「秋の自然を楽しもう！」 自然と文化の探検団来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
11	プログラム「シイタケづくり① ~原木伐採~」 福住祭イベント	ささやまの森公園 篠山産業高等学校 東雲校
13～17	篠山市立篠山東中学校 2年生 トライやるウィーク来園 プログラム「ささやまの森公園杯 第9回グラウンドゴルフ大会」 京丹波町社会福祉協議会デイサービスセンターほほえみ来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園 ささやまの森公園
16	長崎県諫早市市役所来園	ささやまの森公園
17	プログラム「深山登山 ~黄葉の深山に登ろう~」 日本災害救援ボランティアネットワーク来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
18	プログラム「草木染め教室 ~型染め①~」 摂津市テニスクラブ ラブ来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
21	ココロン香寿会来園	ささやまの森公園
22	篠山産業高等学校 丹南校 ~しめ縄作り~	篠山産業高等学校 丹南校
24	篠山市保育園自然グループ来園	ささやまの森公園
25	プログラム「草木染め教室 ~型染め②~」 プログラム「アカマツ林を育てよう」	ささやまの森公園 ささやまの森公園
12月		
1	プログラム「クリスマスリース作り」	ささやまの森公園
2	プログラム「バードウォッキング」	ささやまの森公園
9	プログラム「そば道場入門②' ~そばの脱穀~」	ささやまの森公園
16	プログラム「そば道場入門③ ~そば打ち体験~」	ささやまの森公園
22	プログラム「手作りでお正月を迎えましょう ~しめ縄作り~」	ささやまの森公園
23	プログラム「ダッチ de 料理しよー！ ~クリスマスバージョン~」	ささやまの森公園
平成20年1月		
12	命をつなぐ食育の会来園	ささやまの森公園
13	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
14	プログラム「冬の自然を楽しもう！」	ささやまの森公園
17	篠山産業高等学校 丹南校来園 ~丸太のベンチ作り~	ささやまの森公園
19	プログラム「深山登山 ~冬の深山に登ろう~」	ささやまの森公園
24	篠山産業高等学校 丹南校 ~しか肉料理教室~	篠山産業高等学校 丹南校
2月		
3	プログラム「ミクロの世界をのぞいてみよう」	ささやまの森公園
10	プログラム「黒豆味噌作り」	ささやまの森公園
17	プログラム「炭焼き体験 ~竹炭作り~」	ささやまの森公園
21	プログラム日置愛育班来園	ささやまの森公園
24	プログラム「こんにゃく作り」	ささやまの森公園
3月		
1	プログラム「バードウォッキング入門」 プログラム「黒豆豆腐作り」 みやっ子キッズ来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園 ささやまの森公園
2	プログラム「ささやまの森芋煮会」	ささやまの森公園
5	多紀老人クラブ来園	ささやまの森公園

7	シニア自然学校来園	ささやまの森公園
9	プログラム「シイタケづくり③～菌打ち～」	ささやまの森公園
15	プログラム「河合雅雄講演会～ヒトの進化を探る～」	ささやまの森公園
30	プログラム「木工クラフト～森の動物作り～」	ささやまの森公園

# ささやまの森公園運営協議会委員名簿

平成 20 年 3 月 31 日現在

区分	氏 名	職 名 ・ 所 属 等	
学識経験者	河合 雅雄	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 丹波の森公苑名誉公苑長	会長
	服部 保	兵庫県立姫路工業大学教授 兵庫県立人と自然の博物館自然・環境再生研究部長	副会長
	八木 剛	兵庫県立人と自然の博物館自然・環境評価研究部主任研究員	
地元代表	細見 弘志	地元福住地区総代会長	副会長
	森田 悟	地元川原自治会会长	
	降矢 太刀雄	地元大字福住地区代表	
市関係	山本 晴朗	篠山市多紀支所長	
	森本 一郎	篠山チルドレンズミュージアム室長	
教育関係	河南 秀和	篠山市教育委員会教育長	
	木村 壽彦	丹波市教育委員会教育長	
	花村 諭	兵庫県立篠山産業高等学校東雲校教頭	
	田井 彰人	兵庫県立篠山産業高等学校教諭・日本環境教育学会会員	
	臼井 正博	篠山市立古市小学校教諭	
自然・環境活動関係	仲井 啓郎	兵庫県自然保護指導員・環境省環境カウンセラー	副会長
	谷口 次男	篠山自然の会	
	大塚 剛二	ひょうご森のインストラクター	
	小山 雅充	ビオトープ施工管理士・樹木医	
	井口 成子	丹波の森花くらぶ	
	善積 卓子	丹波自然友の会	
活動スタッフ代表	杉田 弘治	地元活動スタッフ代表	
	森田 守二	地元活動スタッフ代表	
	辻本 哲	活動スタッフリーダー	
	山崎 和美	活動スタッフリーダー	

# 機能

## 体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に育まれた草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せてています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを開催し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

プロ グ ラ ム		主 な 内 容
里 山 体 験	①工 作 ②栽 培 ③食 材・料 理 ④体 験 農 業	つる細工、しめ縄、巣箱、葉脈しおり、木工、リース、草木染め 松茸、椎茸、山菜、こんにゃく、山椒、栗、柿、そば 山菜料理、豆腐、味噌、餅、田舎料理、こんにゃく 丹波黒豆、山の芋、野菜等
自 然 学 習	①環 境 学 習 ②生 態 学 習 ③保 全 学 習	植生、水生昆虫、ビオトープ、水鳥、野鳥 里山自然林の動植物、両生類、魚類、昆虫 里山森林保全、谷川の清流、原生林の植生、湿地の植生
レクリエーション	①ハ イ キ ン グ ②ゲ ー ム ③村 祭 り	深山コース、府県境コース、胎内こぐりコース、源流探検 ネイチャーゲーム、ネイチャーテイリング 水無月祭り、山の神祭り
里 山 復 元	①里 山 総 合 学 習 ②里 山 総 合 体 験 ③里 山 総 合 利 用	樹種学習、植生調査、森林生態 間伐、除伐、枝打ち、きのこ栽培、堆肥作り、植林 炭焼き、木材利用、水車作り、ログハウス建築、ツリーハウス

### ■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日に希望のプログラムを組み実施しています。

### ■学校向けプログラム

総合的な学習の展開に適したプログラムを約20種類用意し、学校や子供会の要望に応じています。

### ■イベント

春の里山まつり・秋の里山まつり・里山音楽会・講演会等、年に数回のイベントを実施しています。

# 沿革

## ささやまの森公園の設置

### 1 設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外C S R事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用したプログラムを開設し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

### 2 沿 革

- ・平成14年 4月 1日 兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
- ・平成14年 4月 4日 活動拠点施設開所式
- ・平成14年 7月 6日 ログ小屋完成
- ・平成14年 7月21日 開園式典
- ・平成15年 5月17日 桧小屋完成
- ・平成16年 3月31日 10号作業道・12号歩道（木の実の散策路）完成
- ・平成16年 6月 1日 竹の館完成
- ・平成17年 3月31日 13号歩道・14号歩道・15号歩道（湖上の散策路）完成
- ・平成18年 3月31日 16号作業道（エビズ工の散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
- ・平成18年10月 8日 森守の小屋完成
- ・平成19年 4月15日 開園5周年記念式典
- ・平成19年 4月15日 万兎の森第1期工事完成
- ・平成19年11月10日 炭焼き小屋と桧小屋の屋根延長工事完成
- ・平成20年 3月15日 万兎の森第2期工事完成

# 施設の概要

## ささやまの森公園の概要

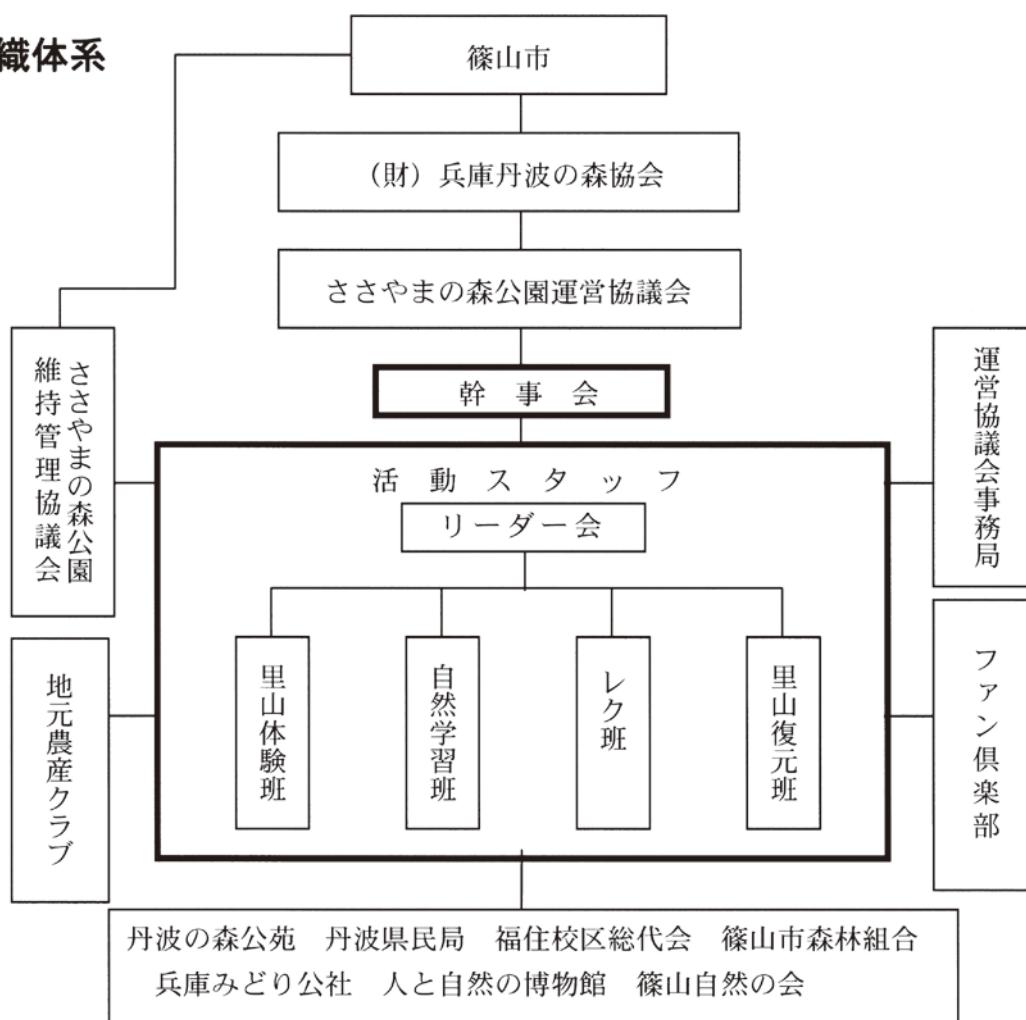
活動拠点施設の位置する谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は255haに及び、人工林30%自然林70%が広がる。

なお、利用者は、平成14年度13,312人、平成15年度17,355人、平成16年度18,364人、平成17年度17,885人、平成18年度20,131人、平成19年度19,319人 累計 106,366人です。

名 称	内 容
活 動 拠 点 施 設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
クリ 林 の 園 地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
水 辺 の 広 場	溪流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
こ も れ び の 園 地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
モリアオガエルの池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
炭 焼 き 窯	直径1.8mの本格的な炭焼き窯
杣 小 屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
ロ グ 小 屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
散 策 路	湖岸の散策路・赤松の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の実散策路・湖上の散策路等全長12.640km整備
駐 車 場	林間駐車場(46台)・施設前駐車場(6台)・臨時駐車場(50台)
竹 の 館	木工材料の乾燥・保管場所(4×10m) 活動スタッフが間伐材を利用して建築
森 守 の 小 屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建設
ハイキング道	尾根に全長10kmのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
万 兔 の 森	昆虫を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成

# 組織と職員

## (1) 組織体系



- 太枠の活動スタッフと幹事会（若干名）は、ボランティアの活動スタッフ。
- 幹事会：ささやまの森公園運営協議会と活動スタッフより各々の若干名で組織し両者の調整を行う。
- ファン俱楽部：運営を支援するための年会費制での応募者。
- 活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

## (2) 職員 (運営協議会事務局)

担当	氏名
公園長兼事務局長	樋口清一
総務担当	阿部操
森づくり担当	酒井正治
プログラム担当	太治庄三
事務員	藤原一美
事務員	森田朋子

(3) ボランティア活動スタッフ名簿

里山体験班		里山復元班
足立忠士	樋口初美	入江まつ子
荒井堯子	森田愛子	上田宏
荒井裕	森田美佐代	大久保紀三
上西三郎	山口祐助	大野直明
梅垣修平	山崎和美	岡野弘明
梅垣伸行	山取純子	小賀野章利
梅垣玲子		金井拓男
大石エミ子	自然学習班	金子武夫
大石一夫	泉靖子	小山雅充
岡田照代	大塚剛二	杉田弘治
岡野誠三	大塚千鶴子	諏訪田知敬
小賀野文代	田井彰人	田代善禰
金丸一	高山謙輔	辻本哲
杉田和代	谷口次男	土居徹次郎
杉田貞子	畠中美智子	長岡一夫
高田眞里	森田美代子	禰屋壯吉
高山亮子	森田八千代	橋本せい子
竹内正義	森西康光	平田春芳
竹内美由紀		福島宏行
近成つた子	レクリエーション班	藤村恵道
中島章雄	青木美子	増田藤志一
中島紀子	市村祐高	増田敏久
西井珠実	小島啓介	村上寿太郎
西村美代子	杉田和博	森田守二
野中烈	高橋いづみ	脇塚陸
野中陸子	野々村正晟	
秦信夫	原田優	
秦有理子	山鳥吉子	
原田明		

# 利用案内

## 丹波の森公苑

- 開園時間 午前9時から午後10時まで
- 休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）  
12月29日から1月3日まで  
(ただし、アトリエの継続利用については  
月曜日も利用可)
- アクセス ◇自動車利用  
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、  
国道176号を福知山方面へ25分  
・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、  
国道175号・176号を柏原方面へ20分  
・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、  
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分  
・中国自動車道「滝野社IC」から、  
国道175号を福知山方面へ45分  
◇JR利用  
・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



## ささやまの森公園

- 開園時間 4・9～翌3月 9:00～17:00  
5～8月 9:00～18:00
- 休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）  
12月29日から1月3日まで
- 入園料・駐車料 無料
- アクセス ◇自動車利用  
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、  
国道372号を亀岡方面へ30分  
・京都縦貫自動車道「亀岡IC」から、  
国道372号を篠山方面へ40分  
◇JR利用  
・JR福知山線「篠山口駅」下車後、  
神姫バス、京都交通バスを利用

